

2024 年度（令和 6 年度）大和郡山市
庁舎内温室効果ガス排出量点検・継続調査業務
報告書

令和 7 年 3 月

産業振興部 環境政策課

目 次

1. 調査の目的と概要.....	1
1－1. 調査の目的.....	1
1－2. 調査の概要.....	2
2. 算定条件の整理	4
2－1. 対象施設について	4
2－2. 活動量データの収集・整理方針について	7
2－3. 温室効果ガス排出係数の更新.....	8
(1) 関西電力の排出係数について	8
(2) 関西電力以外の電力供給会社について	9
3. 活動量データの整理結果.....	10
3－1. 市全体の状況	10
3－2. 施設区分別の状況.....	14
4. 温室効果ガスの排出状況.....	16
4－1. 市全体の状況	16
(1) 温室効果ガス排出量	16
(2) 活動量項目別の排出状況.....	17
4－2. 施設区分別の状況	18
(1) 温室効果ガス排出量	18
(2) 温室効果ガス排出量の多い施設別の状況.....	20
(3) 発電施設による温室効果ガス排出削減量の状況.....	21
5. 職員の温室効果ガス排出削減意識調査票の検討	22
6. 温室効果ガス排出量の削減にむけた取組方針の検討	33
6－1. 電気使用量の削減	34
6－2. プラスチック類焼却量の削減	35
6－3. その他	36

資料編

1. 調査の目的と概要

1－1. 調査の目的

令和 3 年 11 月の国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議（COP26）では、世界共通の長期目標として「産業革命前からの気温上昇を 1.5℃に抑える努力目標」への決意を行った。

日本はこの会議で 2050 年までのカーボンニュートラル、2030 年度温室効果ガス排出量を 2013 年度比で 46% 削減の実現を目指すこと、さらに 50% の高みに向けて挑戦を続けることを表明した。

奈良県においては、令和 3 年 3 月に「奈良県庁トップ温暖化実行計画（第五次）」を策定し、令和 7 年度に平成 25 年度比で温室効果ガス排出量を 35.0% 以上削減するという数値目標を定め、令和 3 年度から令和 7 年度の 5 年間を対象として取り組まれている。また、2050 年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」を表明している。

大和郡山市では平成 19 年に「大和郡山市地球温暖化対策推進事業計画書（第二次）」を策定し、平成 23 年度まで継続して庁舎内からの温室効果ガス排出量を点検・調査し、第二次計画の進捗状況を把握するとともに温室効果ガスの更なる削減に努めた結果、目標年度である平成 23 年度の温室効果ガス排出量は基準年（平成 18 年度）に対して約 7% 減少し、目標値（基準年に対して 3% 削減）を大きく達成した。

第二次計画が終了した平成 24 年度以降も、新たな削減目標を設定し、引き続き排出量の削減を進めていく予定であったが、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響で、国の温暖化対策基本方針の見直し作業に着手できない状況が続いてきた。

その後、平成 29 年 3 月に「大和郡山市地球温暖化対策推進事業計画（第三次）」を策定し、目標年度である令和 3 年度の温室効果ガス排出量は基準年（平成 25 年度）に対して約 25.5% 減少し、目標値（基準年に対して 16% 削減）を達成した。

令和 4 年 3 月には「大和郡山市地球温暖化対策推進事業計画（第四次）」を策定し、平成 25 年度に対し、令和 8 年度に温室効果ガス 35% の削減目標を設定している。

今後、実行計画で定めた温室効果ガス排出量削減目標の達成状況を把握するためには、市の事務・事業による温室効果ガス排出量を毎年点検・調査することが必要となる。

そこで、本業務では第四次計画の 3 年目にある、令和 6 年度における市の事務・事業からの温室効果ガス排出実態を把握し、削減目標の達成状況を確認することを目的として位置づける。

1-2. 調査の概要

調査の項目ならびに内容は次のとおりである。調査の流れを図 1-1 に示す。

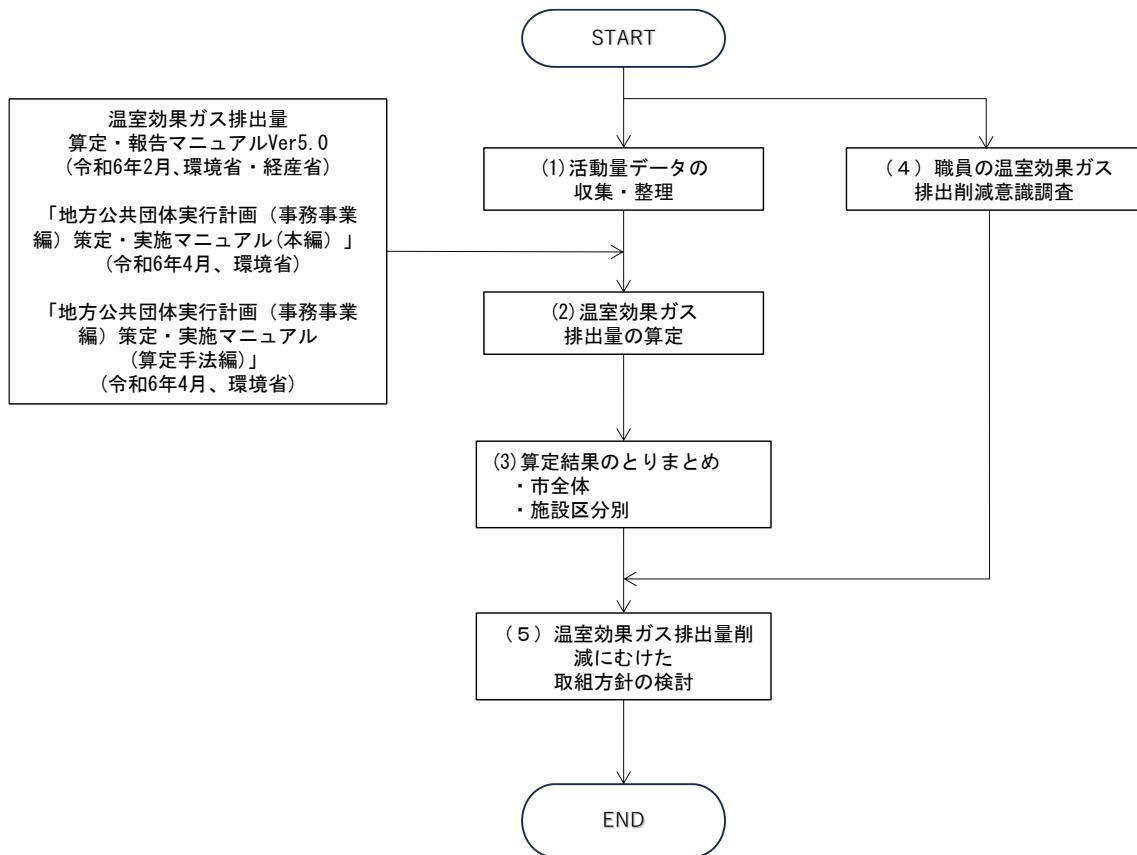


図 1-1 調査の流れ

(1) 基礎情報の確認、データ整理方針の検討

施設の新設や廃止、特定規模電気事業者（PPS）から電力を購入している施設・切替時期等といった、エネルギー消費量や温室効果ガス排出量に影響を及ぼす市の事務事業に関する実態を把握する。

また、それら実態を踏まえた今年度のデータ整理方針について検討する。

(2) 活動量データの収集・整理

市から提供された最新の庁舎内のエネルギー消費量データ等を整理するとともに、市施設の民間委託への変更・廃止等の状況を踏まえ、温室効果ガス排出量の算定対象を見直す。

(3) 温室効果ガス排出量の算定

(2)で整理した活動量データをもとに、最新の令和6年度における市の温室効果ガス排出量を算定する。算定にあたっては以下の資料を参考とする。

- 「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル（ver5.0）」
(令和6年2月、環境省及び経済産業省)
- 「地方公共団体実行計画（事務事業編）策定・実施マニュアル（本編）」
(令和6年4月、環境省)
- 「地方公共団体実行計画（事務事業編）策定・実施マニュアル（算定手法編）」
(令和6年4月、環境省)

(4) 算定結果のとりまとめ

(3)で算定した結果をもとに、市全体及び施設区分別に、基準年に対して温室効果ガス排出量がどの程度削減されたかを算定するとともに、変動状況について取りまとめる。

(5) 職員の温室効果ガス排出削減意識調査の検討

市の温室効果ガス排出量削減には、職員の真摯な取り組みが不可欠であることから、受託者は、令和5年度に作成した取組状況調査項目案を踏まえ、市職員を対象とした温室効果ガス排出削減への取組状況に関する調査票と調査結果のとりまとめ方針に関する資料を作成する。また、回収した調査票について整理・分析を行う。

なお、調査票の配布と回収及び入力（電子データ化）は市が実施する。

(6) 温室効果ガス排出量削減にむけた取組方針の検討

温室効果ガス排出量及び職員の行動実態の評価結果をもとに、温室効果ガス排出量の削減に向けた今後の取組み方針を検討する。

2. 算定条件の整理

2-1. 対象施設について

本業務では、令和6年度に市が管理している施設での事務事業によって発生する温室効果ガス排出量を算定対象とし、表2-1に整理した。ただし、調査対象は職員の削減行動の及ぶ範囲に限定することとし、例えばこれらの施設に属する車両であっても、他団体に貸しているもの等については対象外とした。

表2-1 (1) 調査の対象

部	課	施設区分	所管施設
総務部	企画政策課	本庁舎	
	人事課	本庁舎	
	秘書課	本庁舎	
	総務課	本庁舎	
			本庁舎車両
		本庁舎外	旧矢田幼稚園
	災害対策課	本庁舎外	矢田支所(矢田コミュニティ会館)
		本庁舎	
		その他	消防団詰め所及び納庫
	交通防犯対策課	本庁舎	
		その他	自転車等保管施設
	財政課	本庁舎	
	税務課	本庁舎	
市民生活部	市民課	本庁舎	
	保険年金課	本庁舎	
	人権施策推進課	本庁舎	
	ふれあいセンター	コミュニティセンター	西田中町ふれあいセンター 新町ふれあいセンター
		高齢者福祉施設	西田中町老人憩いの家 新町南老人憩いの家
福祉部	介護福祉課	本庁舎	
	地域包括ケア推進課	本庁舎	
	障害福祉課	本庁舎	
	生活支援課	本庁舎	
すこやか健康づくり部	子育ち支援課	本庁舎	
		保育施設	新町児童館 南井町児童館
		本庁舎外	放課後児童クラブサポートセンター
	保育支援課	本庁舎	
		本庁舎外	旧平和保育園
		保育施設	小泉保育園 西田中保育園 池之内保育園 郡山保育園 新町保育園 治道認定こども園 矢田認定こども園 平和認定こども園
	保健センター	医療関連施設	保健センター
産業振興部	農業水産課	本庁舎	
		公園等	的場古池公園深井戸、九条ポンプ
		その他	昭和工業団地及び土地改良区内深井戸
	地域振興課	本庁舎	
		本庁舎外	元気城下町プラザ 元気城下町ぶらっと
		公園等	郡山城址ライトアップ 町家物語館 バスパーク
	スポーツ推進課	本庁舎	
		その他	西田中グラウンド
	環境政策課	本庁舎	
		その他	清浄会館
		公園等	公園墓地
	クリーンセンター	清掃廃棄物関連施設	清掃センター
			山田町最終処分場
		汚水処理関連施設	衛生センター

表 2-1 (2) 調査の対象

部	課	施設区分	所管施設
都市建設部	管理課	本庁舎	
		その他	管理課道路灯
	建設課	本庁舎	
		その他	建設課ポンプ場等
		公園等	桜堤公園等
	住宅課	本庁舎	
		その他	市営住宅照明等
	入札検査課	本庁舎	
	まちづくり戦略課	本庁舎	
		本庁舎外	まちづくり協定推進室 公民連携空家利活用推進室 文化財整理室
		本庁舎外	道路灯等
	まちづくり事業課	本庁舎	公園等
		その他	公園・歴史公園等
		本庁舎外	
上下水道部	業務課	本庁舎外	
	工務課	本庁舎外	
		上水道関連施設	浄水場(北郡山・昭和)
	下水道推進課	本庁舎外	
		汚水処理関連施設 (下水道ポンプ場)	郡山ポンプ場 他市内13か所
教育委員会事務局	教育総務課	本庁舎	
		幼・小・中学校	郡山南幼稚園 郡山北幼稚園 郡山西幼稚園 筒井幼稚園 昭和幼稚園 片桐幼稚園 片桐西幼稚園 矢田南幼稚園 郡山南小学校 郡山西小学校 郡山北小学校 矢田小学校 筒井小学校 平和小学校 治道小学校 昭和小学校 片桐小学校 片桐西小学校 矢田南小学校 郡山中学校 郡山南中学校 郡山西中学校 郡山東中学校 片桐中学校
		その他	通学路灯
		学校教育課	本庁舎
			青少年センター
		生涯学習課	幼・小・中学校
			学科指導教室「ASU」
		本庁舎	
		学校給食事務所	学校給食
			小学校給食センターあすなろ 中学校給食センターおおぞら
		中央公民館	中央公民館
			南部公民館
			昭和地区公民館
			治道地区公民館
			平和地区公民館
			片桐地区公民館
会計室		本庁舎	
議会事務局		本庁舎	
監査委員事務局		本庁舎	
農業委員会事務局		本庁舎	

なお、平成 25 年度～令和 6 年度にかけて民間委託への変更及び廃止された施設や追加となった施設等について、排出量集計上の取り扱いについては、表 2-2 のとおりとした。

表 2-2 (1) 本業務における各施設からの排出量の取扱い方針

分類	施設	取扱い方針
対象外(H26)	・額田部運動公園	・管理者が変更となつたが、他の公園も含めた実績データであるため項目名を「公園等」とした。
対象外(H27)	・西田中町 B 地区住環境整備工事事務所 ・少年自然の家 ・消防本部	・業務終了となつたため、施設名は削除するが平成 26 年度以前の排出量は算定対象とする。 ・管理変更となつたため、平成 26 年度以前の排出量も算定対象外とする。 ・奈良県広域消防組合に管理運営が変更となつたため、平成 26 年度以前の排出量も算定対象外とする。
対象外(H29)	・矢田山処分場 ・小泉出屋敷コミュニティセンター ・老人憩いの家(小泉出屋敷)	・業務終了となつたため、施設名は削除するが平成 28 年度以前の排出量は算定対象とする。 ・管理変更となつたため、平成 28 年度以前の排出量も算定対象外とする。
対象外(H30)	・矢田山保育園 ・矢田幼稚園	・平成 30 年 3 月末に矢田山保育園と矢田幼稚園は廃園となつたが、平成 30 年 4 月から矢田認定こども園が開園されたことから、平成 29 年度以前の排出量も算定対象とする。
対象外(R1)	・三の丸ポケットパーク街路灯 ・観光駐車場照明 ・西友前バスタークミナル水飲み場 ・南井町コミュニティセンター ・老人憩いの家(南井町)	・施設がなくなったため施設名は削除するが平成 30 年度以前の排出量は算定対象とする。 ・管理変更となつたため、平成 30 年度以前の排出量も算定対象外とする。
対象外(R3)	・平和保育園 ・平和幼稚園	・令和 3 年 3 月末に平和保育園と平和幼稚園は廃園となつたが、令和 3 年 4 月から平和認定こども園が開園されたことから、令和 2 年度以前の排出量も算定対象とする。
対象外(R5)	・たんとん郡高広場	・施設が廃止されたため施設名は削除するが移管ではないため令和 4 年度以前の排出量は算定対象とする。
組織変更(H26)	・上下水道部の浄水課は廃止 ・消防団詰所及び納庫は総務部市民安全課に移動	・平成 25 年度の排出量についても、新組織の排出量として集計した。
組織変更(H27)	・治道認定こども園は教育委員会教育総務課幼稚園から福祉健康づくり部こども福祉課の管轄に移行。	・平成 25~26 年度の排出量についても、福祉健康づくり部の排出量とした。
組織変更(R3)	・福祉健康づくり部こども福祉課は右記の 2 課に分割。	・保育課…保育園、認定こども園等を対象 ・子育ち支援課…児童館等を対象

表 2-2 (2) 本業務における各施設からの排出量の取扱い方針

分類	施設	取扱い方針
組織変更(R4)	・ 福祉健康づくり部は右記の 2 部に分割	・ 福祉部 ・ すこやか健康づくり部
	・ 厚生福祉課は右記の 2 課に分割	・ 障害福祉課 ・ 生活支援課
	・ 都市建設部都市計画課は右記の 2 課に分割	・ まちづくり戦略課 ・ まちづくり事業課
	・ 歴史公園等	・ 教育委員会生涯学習課の管理から都市建設部まちづくり事業課に変更
組織変更(R6)	・ 総務部市民安全課は右記の 2 課に分割。	・ 災害対策課…消防団詰所を対象 ・ 交通防犯対策課…自転車保管施設を対象
新規追加(H30)	・ 矢田認定こども園	・ 福祉健康づくり部こども福祉課に追加
新規追加(R3)	・ 平和認定こども園を福祉健康づくり部保育課に追加。	・ 令和 2 年度以前の排出量についても保育課の排出量とした。
新規追加(R5)	・ 放課後児童クラブサポートセンター	・ すこやか健康づくり部子育ち支援課に追加
	・ 旧平和保育園	・ 保育園以外の用途での施設利用があるため、旧名称で追加
名称変更(R4)	・ 福祉健康づくり部はすこやか健康づくり部に名称変更 ・ 保育課は保育支援課に名称変更	・ 新名称で集計
集計する施設単位の変更	・ 幼稚園、小学校、中学校	・ 令和 5 年度以前は市内の幼稚園合計、小学校合計、中学校合計として集計していたが、令和 6 年度以降は園・校別にデータを収集し、個別に排出量を算定

2-2. 活動量データの収集・整理方針について

市の資料より、表 2-3 の事項について令和 6 年度の実績データを収集した。データの整理にあたっては、昨年度までの集計と同様に本庁舎については課単位、本庁舎外施設については施設単位で行った。報告書への掲載年については、基準年である平成 25 年度及び最新実績から過去 5 年間（令和 2～令和 6 年度）とした。

また、一般廃棄物中のプラスチック量の算定には、表 2-4 に示す、ごみ質の内訳を利用する。これは市で年 6 回行われている組成分析の結果を平均したものである。

表 2-3 収集・整理する活動量データと出典

収集項目	出典
燃料使用量(灯油、重油、ガソリン、軽油、ガス)	1)2)(公用車の燃料)
電気使用量	1)
公用車走行距離 ^{注1)}	2)
一般廃棄物焼却量ならびにその中のプラスチック類焼却量 ^{注2)}	3)
水道水使用量 ^{注3)}	1)

- 出典 1)燃料費・光熱水費・電話料調べ 令和5年10月～令和6年9月
 2)車両関係調べ 令和5年度(令和5年4月～令和6年3月)
 3)担当部資料(ごみ排出量及び処理・処分量の実績一覧表)
- 注1 公用車は燃料使用量に対応する年間走行量が不明のため、燃費の実績に燃料使用量を乗じて算定した。
- 注2 一般廃棄物焼却量のうちプラスチック類の割合は、担当部調査による「合成樹脂・ゴム・ビニール」のごみの組成割合(表2-4)より算定した。
- 注3 水道水使用量は温室効果ガス排出量とは直接関係ないが、浄水・排水処理を通じて環境に負荷を与える項目として職員の意識のバロメーターの1つとして把握を行った。

表 2-4 ごみ質(可燃ごみ)の推移

(単位：%)

実績年度		基準年 (H24年度)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
ご み の 種 類 ・ 組 成	紙・布類	41.45	39.70	42.13	52.46	39.29	44.02
	合成樹脂・ゴム・ビニール	27.99	27.12	28.90	23.80	27.11	23.89
	木・竹・わら類	7.86	10.52	9.12	7.05	9.47	10.28
	ちゅう芥類	15.01	11.54	9.91	5.16	12.68	14.63
	不燃物類	4.07	6.56	5.80	8.34	7.33	4.91
	その他(5mm以下)	3.62	4.56	4.15	3.18	4.13	2.27

注:本調査では合成樹脂・ゴム・ビニールをプラスチックとみなした。

出典:大和郡山市資料(H24実績を、基準年H25排出量の算定に用いている)

2-3. 温室効果ガス排出係数の更新

(1) 関西電力の排出係数について

環境省のマニュアルによると、「事務事業編における「温室効果ガス総排出量」の算定に用いる、他人から供給された電気の排出係数としては、基本的に基礎排出係数を使用するが、再生可能エネルギー電力の調達等の取組が反映できるよう、点検に当たっては、基礎排出係数を用いて算定された温室効果ガスの総排出量に加え、調整後排出係数を用いて算定された温室効果ガスの総排出量を併せて公表するものとする」とされている。しかしながら調整後排出係数の公表は翌々年度となるため、参考値として前年度の値が資料に掲載されており、適正な比較がしにくいことから、本業務では基礎排出係数のみを用いる。

電気事業者ごとの基礎排出係数及び調整後排出係数は、環境省の地方公共団体実行計画策定・実施支援サイトで公表されている数値(表2-5)を用いる。

また、本業務の算定対象期間(前年度10月～当該年度9月)は複数の年度にわたっているが、当該年度の排出係数が公表されていないことから、本業務では前年度の係数を用いて算定する。

表 2-5 関西電力における CO₂ 排出係数（実績値）

年度	CO ₂ 排出係数(kg-CO ₂ /kWh)													
	基礎排出係数 (CO ₂ クレジット等反映前)				調整後排出係数 (CO ₂ クレジット等反映後)				採用値					
H25	0.522				0.516				0.522					
R2	0.362				0.350(参考値)				0.362					
R3	0.299				0.309(参考値)				0.299					
R4	0.360				0.420(参考値)				0.360					
R5	未発表(令和 7 年 1 月 31 日時点)								0.360					
R6	未発表(令和 7 年 1 月 31 日時点)								0.360					

※(参考値)は、メニュー別係数を公表している電気事業者についての令和 4 年度実績に基づくもので、原則参考情報です。

(2) 関西電力以外の電力供給会社について

平成 22 年度以降、市では電力供給会社を関西電力以外の特定規模電気事業者からも選択することが可能となったが、本年度の調査対象期間は、表 2-6 に示すように全施設とも関西電力から購入している。電力使用に伴う二酸化炭素の排出係数は、前述した環境省資料より引用している。これらは国の「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」に準拠した年度別の値である。

表 2-6 施設別の電力契約会社及び使用した排出係数

調査年	H25調査									R2調査									R3調査																
	H24年度				H25年度					R1年度				R2年度					R2年度				R3年度												
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
下記以外の施設	契約会社 関西電力									関西電力									関西電力																
本庁舎 電力会社	契約会社 ミツウロコ									エネサーブ									エネサーブ																
小中学校	契約会社 関西電力									関西電力									関西電力																
公民館 平和保育園 小泉保育園 西田中保育園 西田中町ふれあいセンター 保健センター 給食センター「おおぞら」 給食センター「あすなろ」	契約会社 サミットエナジー									エネサーブ									エネサーブ																
	使用係数 0.514									0.340									0.362																
	使用係数 0.366									0.365									0.347																
	使用係数 0.514									0.340									0.362																
	使用係数 0.438									エネサーブ									エネサーブ																
	使用係数 0.365									0.347																									

調査年	R4調査									R5調査									R6調査																
	R3年度				R4年度					R4年度				R5年度					R5年度				R6年度												
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	#	#	#	1	2	3	4	5	6	7	8
下記以外の施設	契約会社 関西電力									関西電力									関西電力																
本庁舎 電力会社	契約会社 エネサーブ									エネサーブ									エネサーブ																
小中学校	契約会社 関西電力									関西電力									関西電力																
公民館 平和保育園 小泉保育園 西田中保育園 西田中町ふれあいセンター 保健センター 給食センター「おおぞら」 給食センター「あすなろ」	契約会社 サミットエナジー									エネサーブ									エネサーブ																
	使用係数 0.299									0.360									0.360																

表中の上段（網掛け）：契約会社、下段：排出係数

出典：電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用），環境省・経済産業省公表

3. 活動量データの整理結果

3-1. 市全体の状況

温室効果ガス排出量算定の基となる活動量を基準年と比較する（表3-1、図3-1）。過年度データは基準年である平成25年度の値、および過去5年間の値を記載した。

これまでの調査により、市全体の温室効果ガス排出量に最も寄与するのはプラスチック類焼却量であることがわかっている。一般廃棄物全体の焼却量は減少傾向にあるが、表3-1下段の（参考）に示すように焼却処分された廃棄物中に占めるプラスチック類の割合の変動が大きいため、プラスチック類焼却量は変動が大きい。

次に温室効果ガス排出量への寄与が大きい電気使用量について、令和6年度は、基準年（平成25年度）に対し17.1%の削減となった。事務所で使用した電気使用量は基準年（平成25年度）に対して15.8%の増加、昨年度より192MWh（割合にして約4%）増加した。事業系で使用した電気量は基準年（平成25年度）に対して27.2%の削減を達成し、経年的にも減少を維持している。

これに関連して市では中央公民館、本庁舎、学校給食センターで太陽光発電施設を、清掃センターで蒸気発電施設を稼働しているが、表3-1ではCO₂排出量のもととなる電力消費量を集計する観点で、これら発電量による自家消費分を除いた、買電量のみを対象としている。発電量及び自家消費量の詳細については次章で示す。

表3-1には参考として平均気温も示している。令和6年度の夏期の気温は計画策定以来の最高値を記録し、平成25～令和5年度の平均（夏期26.3°C、冬期5.4°C）と比較して夏は2.2°C暑く、冬期は1.3°C暖かであった。事務所での冷房のための電気使用量が基準年より多くなる要因の一つと推察される。水道水使用水量は基準年（平成25年度）より26.6%削減されている。

化石燃料使用量は表3-1及び図3-1に示したように、基準年より削減され、昨年度と比較して減少している項目が多い。都市ガスは基準年（平成25年度）からは65.4%増加となっているが、これは平成28年度から稼働を開始した中学校給食センターによるところが大きい。

一方、公用車の走行量は基準年（平成25年度）より38.5%減であり、減少を維持している。

表 3-1 活動量の比較

		単位	基準年 (H25)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
燃料使用量	ガソリン	L	47,948	33,244 69.3%	31,521 65.7%	33,058 68.9%	31,019 64.7%	32,683 68.2%	
	灯油	L	244,538	212,544 86.9%	219,836 89.9%	240,442 98.3%	196,129 80.2%	183,653 75.1%	
	軽油	L	60,996	44,423 72.8%	43,338 71.1%	50,057 82.1%	49,791 81.6%	56,042 91.9%	
	A重油	L	54,018	42,436 78.6%	54,473 100.8%	46,304 85.7%	44,529 82.4%	42,783 79.2%	
	液化石油ガス(LPG)	kg	41,174	18,805 45.7%	20,198 49.1%	20,262 49.2%	19,825 48.1%	19,388 47.1%	
	都市ガス	m ³	214,335	304,162 141.9%	338,862 158.1%	348,060 162.4%	339,827 158.5%	354,547 165.4%	
電気使用量	事務所で使用した電気量	MWh	4,583	4,070 88.8%	4,695 102.5%	4,930 107.6%	5,117 111.7%	5,309 115.8%	
	事業系施設での電気使用量	MWh	14,881	11,282 75.8%	11,153 74.9%	10,925 73.4%	10,910 73.3%	10,830 72.8%	
	計	MWh	19,464	15,351 78.9%	15,849 81.4%	15,854 81.5%	16,027 82.3%	16,139 82.9%	
自動車の走行量	ガソリン・LPG車	普通・小型乗用車 (定員10名以下)	km	83,778	21,306 25.4%	15,261 18.2%	21,789 26.0%	27,034 32.3%	40,995 48.9%
		軽自動車	km	7,674	2,131 27.8%	2,214 28.9%	3,000 39.1%	1,540 20.1%	4,085 53.2%
		普通貨物車	km	0	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
		小型貨物車	km	322,759	39,030 12.1%	33,975 10.5%	42,971 13.3%	13,214 4.1%	12,572 3.9%
		軽貨物車	km	54,366	272,369 501.0%	268,775 494.4%	287,915 529.6%	295,681 543.9%	292,999 538.9%
		特殊用途車	km	3,688	4,968 134.7%	6,536 177.2%	5,310 144.0%	7,369 199.8%	8,213 222.7%
	軽油車	普通・小型乗用車	km	0	0 —	0 —	0 —	0 —	0 —
		普通貨物車	km	109,754	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
		小型貨物車	km	21,542	14,760 69%	15,635 73%	15,034 70%	15,891 74%	13,633 63%
		特殊用途車	km	176,968	152,760 86%	121,408 69%	150,246 85%	146,033 83%	139,603 79%
	CNG車	特殊用途車	km	51,685	22,301 43%	29,670 57%	1,131 2%	0 0%	0 0%
			km	832,214	529,625 63.6%	493,474 59.3%	527,396 63.4%	506,762 60.9%	512,100 61.5%
一般廃棄物焼却量		t	34,794	26,848 77.2%	26,746 76.9%	26,038 74.8%	24,700 71.0%	24,807 71.3%	
うち合成繊維由来プラスチック類		t	985	760 77.2%	757 76.9%	737 74.8%	699 71.0%	702 71.3%	
うち合成繊維除くプラスチック類		t	7,791	5,825 74.8%	6,184 79.4%	4,958 63.6%	5,357 68.8%	4,741 60.9%	
水道水使用水量		m ³	169,963	115,841 68.2%	131,519 77.4%	120,680 71.0%	132,864 78.2%	124,713 73.4%	
(参考)夏期の平均気温(7~9月)		°C	26.0	26.5	26.0	27.0	27.8	28.5	
(参考)夏期の平均気温(7~8月)		°C	27.5	27.5	27.2	27.9	28.6	29.1	
(参考)冬期の平均気温(12~2月)		°C	4.0	7.0	6.3	5.0	5.4	6.7	
(参考)焼却処分された廃棄物中に占めるプラスチックの割合		%	27.99	27.12	28.90	23.80	27.11	23.89	

※下段は基準年(H25 年度)との比率を表す。

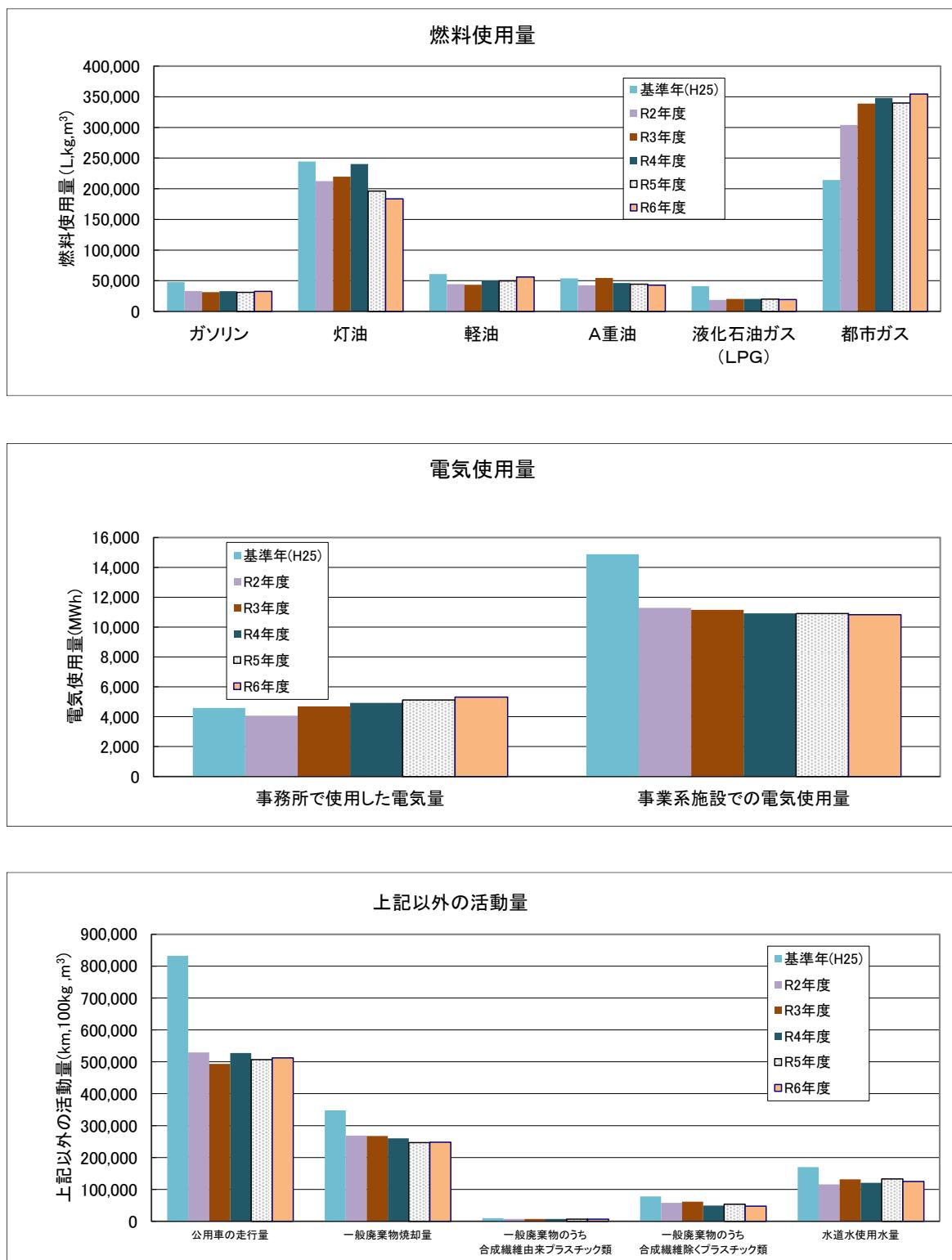


図 3-1 活動量の基準年との比較

さらに、電気使用量を事務系と事業系に分けて、月別に経年変化を整理した（図 3-2～3-3）。

事務系では冬期と夏期にピークになるという傾向は変わらないが、令和 6 年度調査では過年度と比較してピーク期間が長く、使用量も最高値となった（図 3-2）。空調設備関連での電気使用量が増加したと考えられるが、夏期の増加は平均気温が高かったことが要因の一つである。また、令和 3 年度以降は感染症対策のため換気をしながらの空調稼働となっていることにより負荷が高まっていることも考えられる。なお、令和 2 年度の使用量が少なかったのは感染症対策のため 3 月から 8 月にかけて外出自粛要請等により施設の利用が限定的になったことによるものである。

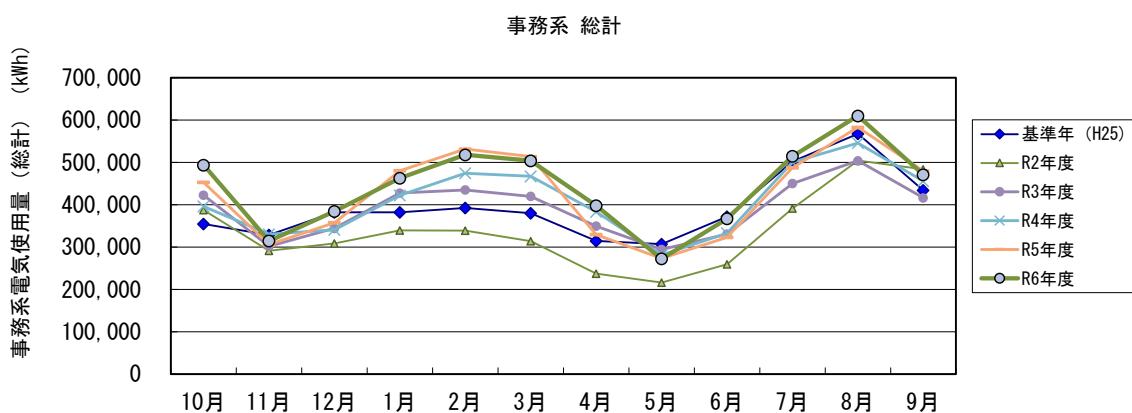


図 3-2 電気使用量の月別経年変化（事務系）

事業系では空調以外の動力機器による電力消費が多いと想定されるため、気温の変動には影響を受けにくく、一年を通じてほぼ同レベルの値で推移している。令和 2 年度以降は清掃センターの延命化事業に伴う設備の省エネルギー化や、蒸気発電施設の稼働開始による効果等が現れ、年間を通して 2 割以上の減少がみられている。今年度は年間の 4 ヶ月が平成 25 年度以来の過去最低を記録したことから、道路照明や施設の設備更新等が行われた可能性がある。今後は他の施設についても節電効果の高い施設整備の検討が期待される。

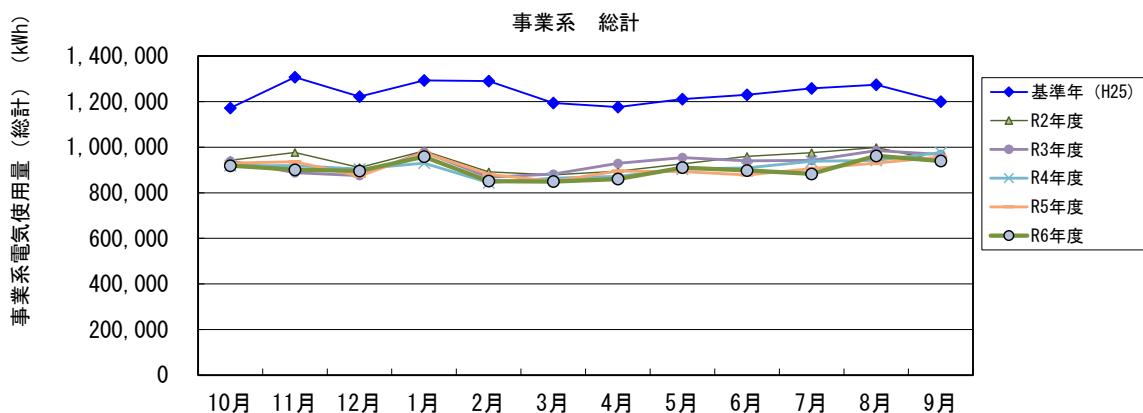


図 3-3 電気使用量の月別経年変化（事業系）

3-2. 施設区分別の状況

次に、表2-1に示した施設区分別の状況について述べる。

活動量データのうち、温室効果ガス排出量に最も影響を与えてるのは、昨年度までの調査結果から一般廃棄物排出量であるが、これは市域全体から排出されるものであり、市職員の削減努力を評価することが難しい。そのため、ここでは温室効果ガス排出量に対して2番目に影響の大きい電気使用量について、施設区分別の経年変動を調べた。

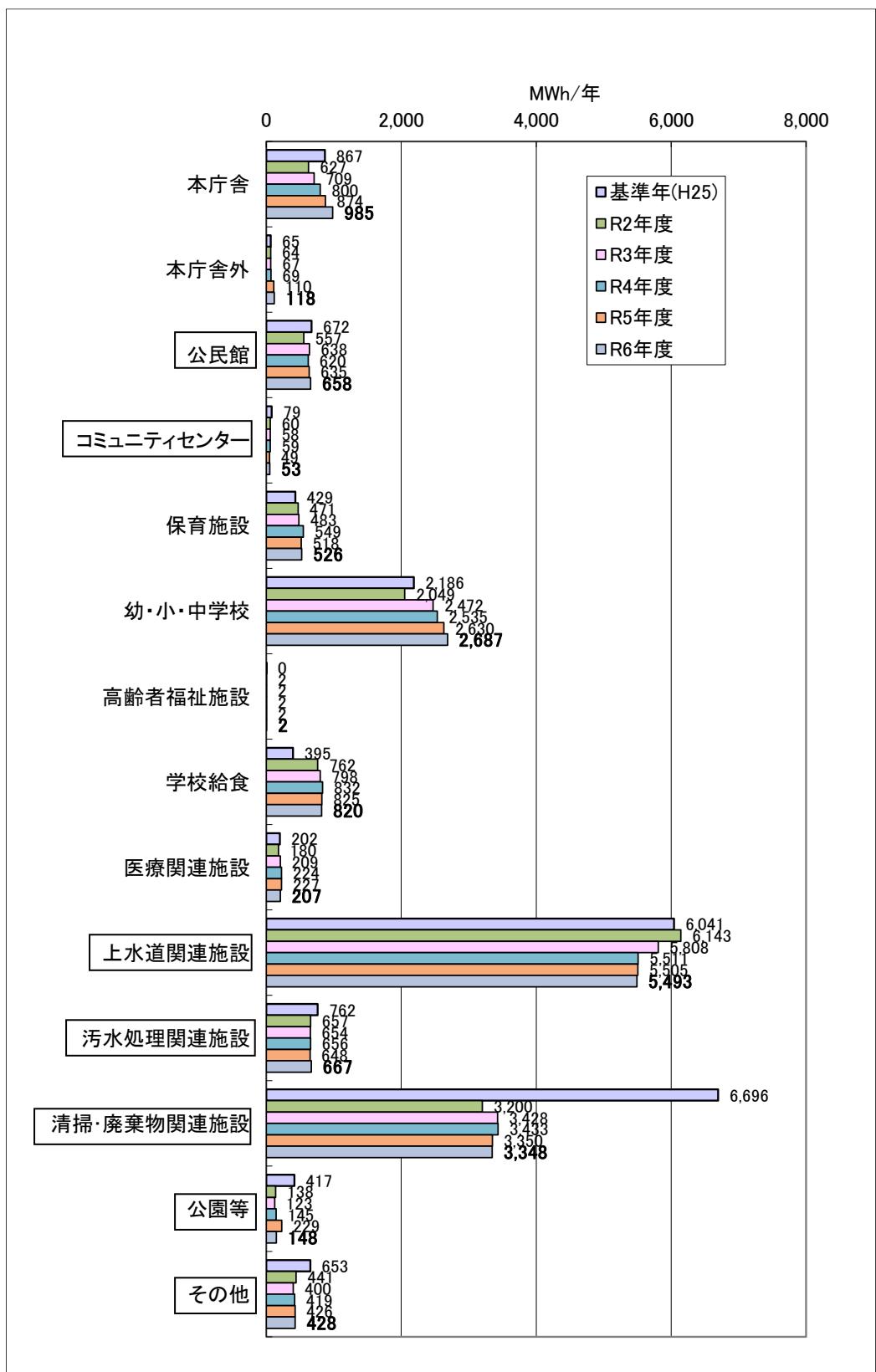
基準年との経年的な比較を表3-2及び図3-4に示す。以下、特徴的な事項について述べる。

- 基準年(平成25年度)では清掃・廃棄物関連施設での使用量が最も大きかったが、延命化事業として実施された廃熱の有効利用を含めた施設改善工事により削減し、今年度は基準年より半減、全体の20.7%で2位であった。
- 上水道関連施設での使用量が全体の34.0%で割合としては最大であったが、使用量は3年連続で減少し、過去最低となった。
- 幼・小・中学校は3番目に使用量が多く全体の16.6%を占めている。基準年と比較して23%増加し、過去5年間でも増加を続けているが、令和3年度以降の各校舎におけるエアコン稼働と夏期の気温が高かったことによる影響と想定される。
- 本庁舎は4番目に使用量が多く全体の6.1%を占めている。令和5年度比で13%増加している。令和4年5月からの新庁舎移転に伴い、電気使用量が増加したものと考えられる(資料編(17), p.85の電気使用量の月別変動を参照)。
- 上記以外では、昨年度と比較して公民館で電気使用量が増加しているが、夏期の気温上昇に伴う空調需要増が主な要因と想定される。他には、令和5年度から本庁舎外で増えた要因は放課後児童クラブサポートセンターが新設されたためである。

表3-2 施設区分別の電気使用量の推移

(単位: MWh)

施設区分	基準年(H25)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	構成比(%)
本庁舎	867	627	709	800	874	985	6.1
本庁舎外	65	64	67	69	110	118	0.7
公民館	672	557	638	620	635	658	4.1
コミュニティセンター	88	60	58	59	49	53	0.3
保育施設	429	471	483	549	518	526	3.3
幼・小・中学校	2,186	2,049	2,472	2,535	2,630	2,687	16.6
高齢者福祉施設	0	2	2	2	2	2	0.0
学校給食	395	762	798	832	825	820	5.1
医療関連施設	202	180	209	224	227	207	1.3
上水道関連施設	6,041	6,143	5,808	5,511	5,505	5,493	34.0
汚水処理関連施設	762	657	654	656	648	667	4.1
清掃・廃棄物関連施設	6,696	3,200	3,428	3,433	3,350	3,348	20.7
公園等	417	138	123	145	229	148	0.9
事業系の小計	13,916	10,138	10,013	9,745	9,732	9,656	59.8
その他	653	441	400	419	426	428	2.7
市全体	19,464	15,351	15,849	15,854	16,027	16,139	100.0



注) 施設区分ごとに四捨五入しているため、市全体合計と内訳が一致しない場合がある。

図 3-4 施設区分別の電気使用量の基準年との比較

※ □囲みは平成 25 年度より削減された施設区分を表している。

4. 温室効果ガスの排出状況

4-1. 市全体の状況

(1) 温室効果ガス排出量

令和6年度の温室効果ガス総排出量は約22,505t-CO₂（各種温室効果ガスを二酸化炭素相当量として換算、以降これに従う）であった。これは第四次計画基準年の平成25年度に対し13,180t-CO₂（割合にして36.9%）の減少にあたる（表4-1、図4-1）。

温室効果ガス種類別には二酸化炭素が全体の排出量の約98%を占めている。一般廃棄物焼却に伴う温室効果ガスを除いた場合では、平成25年度に比べ、3,933t-CO₂（割合にして34.7%）の減少となった。

表4-1 市の事務・事業に伴う温室効果ガス排出実態

（単位：t-CO₂）

温室効果ガス種類	基準年(H25) (2013)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	計画値 (R8年度)
二酸化炭素	35,155 -29.9%	24,640 -25.3%	26,255 -37.7%	21,903 -32.3%	23,812 -37.1%	22,129	
メタン	1.82 -37.3%	1.14 -47.6%	0.95 -52.0%	0.87 -54.8%	0.82 -54.5%	0.83	
一酸化二窒素	527.9 -23.0%	406.6 -23.3%	404.8 -25.3%	394.5 -25.3%	374.2 -29.1%	375.9 -28.8%	
計	35,685 -29.8%	25,047 -25.3%	26,660 -37.5%	22,299 -32.2%	24,187 -36.9%	22,505 -35.0%	
計 (一般廃棄物焼却によるガス量を除いた場合)	11,325 -40.0%	6,798 -34.7%	7,395 -42.7%	6,487 -34.9%	7,376 -34.7%	7,392 -34.7%	7,361 -35.0%
（参考）焼却処分された廃棄物中に占める プラスチックの割合(%)	27.99	27.12	28.90	23.80	27.11	23.89	

※HFC, PFC, SF6は本業務では該当項目なし

※下段は基準年からの増減率を表す。

※t単位で表示しているため、端数の関係上、合計値が一致しない場合がある。

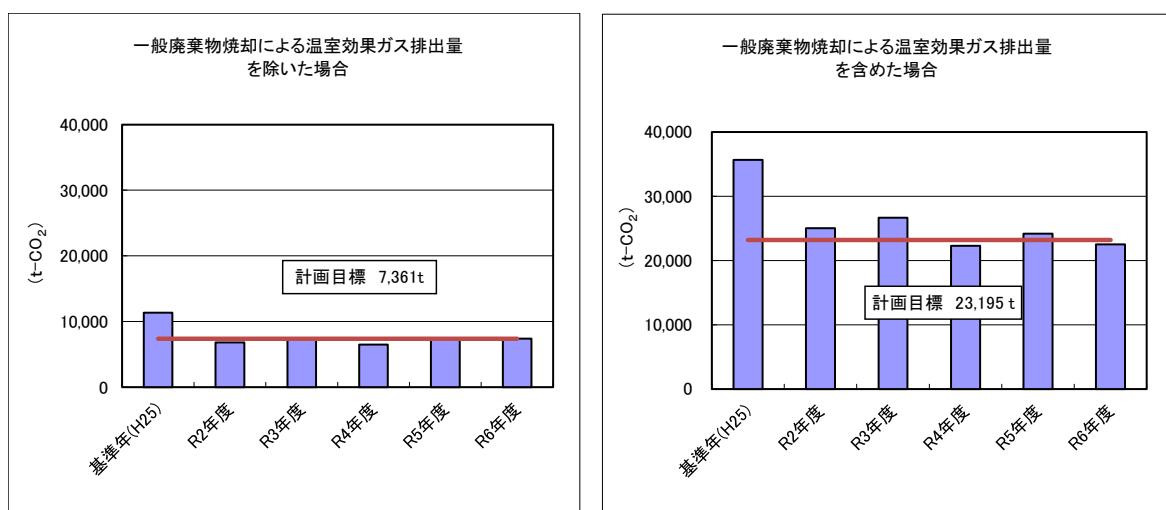


図4-1 市の事務・事業に伴う温室効果ガス排出量の推移

(2) 活動量項目別の排出状況

温室効果ガス排出量をその活動量の別にまとめると、表 4-2 及び図 4-2 のようになる。項目の順位は令和 5 年度までと同様に一般廃棄物中のプラスチック類の焼却によるものが最も大きく、次いで電気使用の順で、この 2 項目で全体の約 9 割を占めている。プラスチック類の焼却による排出量は、その焼却量の増減に左右される。

プラスチック類焼却量は環境省のマニュアルに従って、下記に示す式により算出する。

プラスチック類焼却量(t)	= 合成繊維焼却量 + 合成繊維を除くプラスチック類焼却量
合成繊維焼却量(t)	= 一般廃棄物の焼却量 (t) × 0.065 ^{※1} × 0.8 ^{※2} × 0.532 ^{※3}
合成繊維を除くプラスチック類焼却量 (t)	= 一般廃棄物の焼却量 (t) × 可燃ごみ中の合成樹脂・ゴム・ビニールの割合 × (1-0.2 ^{※4})
※1:	一般廃棄物中の繊維くずの割合 (排出ベース), ※2: 繊維くずの固形分割合 (排出ベース)
※3:	繊維くず中の合成繊維の割合 (乾燥ベース),
※4:	0.2 はプラスチック類の水分含有率平均値として「地方公共団体実行計画(事務事業編)策定・実施マニュアル(算定手法編)」(環境省、令和 6 年 4 月) p. 37 に定められた数値

上記のうち、可燃ごみ中の合成樹脂・ゴム・ビニールの割合は表 2-4 に示すように年度による差が大きく、令和 6 年度集計では前年度と比較して低くなつたため、温室効果ガス排出量の減少要因となっている。

また、電気使用による排出量が過去 5 年間で最も大きい値となつた。電気使用量そのものが過去 5 年間で増加していること (表 3-1, p. 11 参照) に加え、関西電力の排出係数が過去 5 年間で 2 番目に高い値であった (表 2-5, p. 9 参照) ことも増加要因となつている。

表 4-2 活動量項目別の温室効果ガス排出量の内訳

(単位 : t-CO₂)

活動量項目	基準年(H25)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
化石燃料使用	1,610	1,549	1,672	1,743	1,603	1,579
電気使用	9,709	5,245	5,719	4,740	5,770	5,810
自動車走行	6	4	3	3	3	3
一般廃棄物焼却	24,360	18,250	19,266	15,812	16,811	15,113
一般廃棄物全体(CH ₄ ・N ₂ O)	524	404	403	392	372	373
合成繊維を含むプラスチック類全体(CO ₂)	23,836	17,846	18,863	15,420	16,440	14,740
計	35,685	25,047	26,660	22,299	24,187	22,505

*t 単位で表示しているため、端数の関係上、合計値が一致しない場合がある。

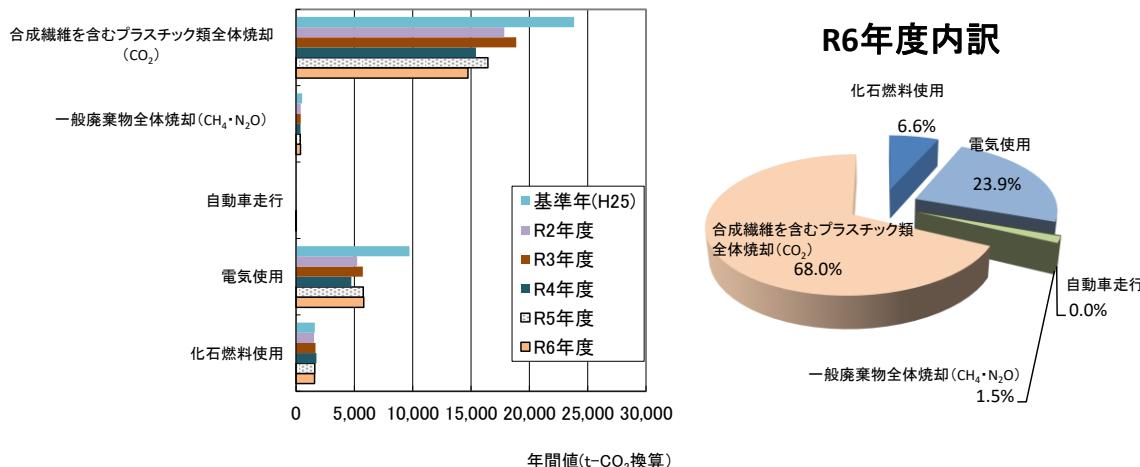


図 4-2 活動量項目別の温室効果ガス排出量の内訳

4-2. 施設区分別の状況

表2-1に示した施設区分の別にまとめた結果を示す。

(1) 温室効果ガス排出量

施設区分別の排出量は図4-3のとおりであり、清掃・廃棄物関連施設が最も多く、次いで上水道関連施設、幼・小・中学校、学校給食の順に多い。今年度は公民館が基準年を上回ったほか、本庁舎が昨年度より増加していること、他の施設は基準年からの減少を維持している区分が多いことが特筆すべき点である。

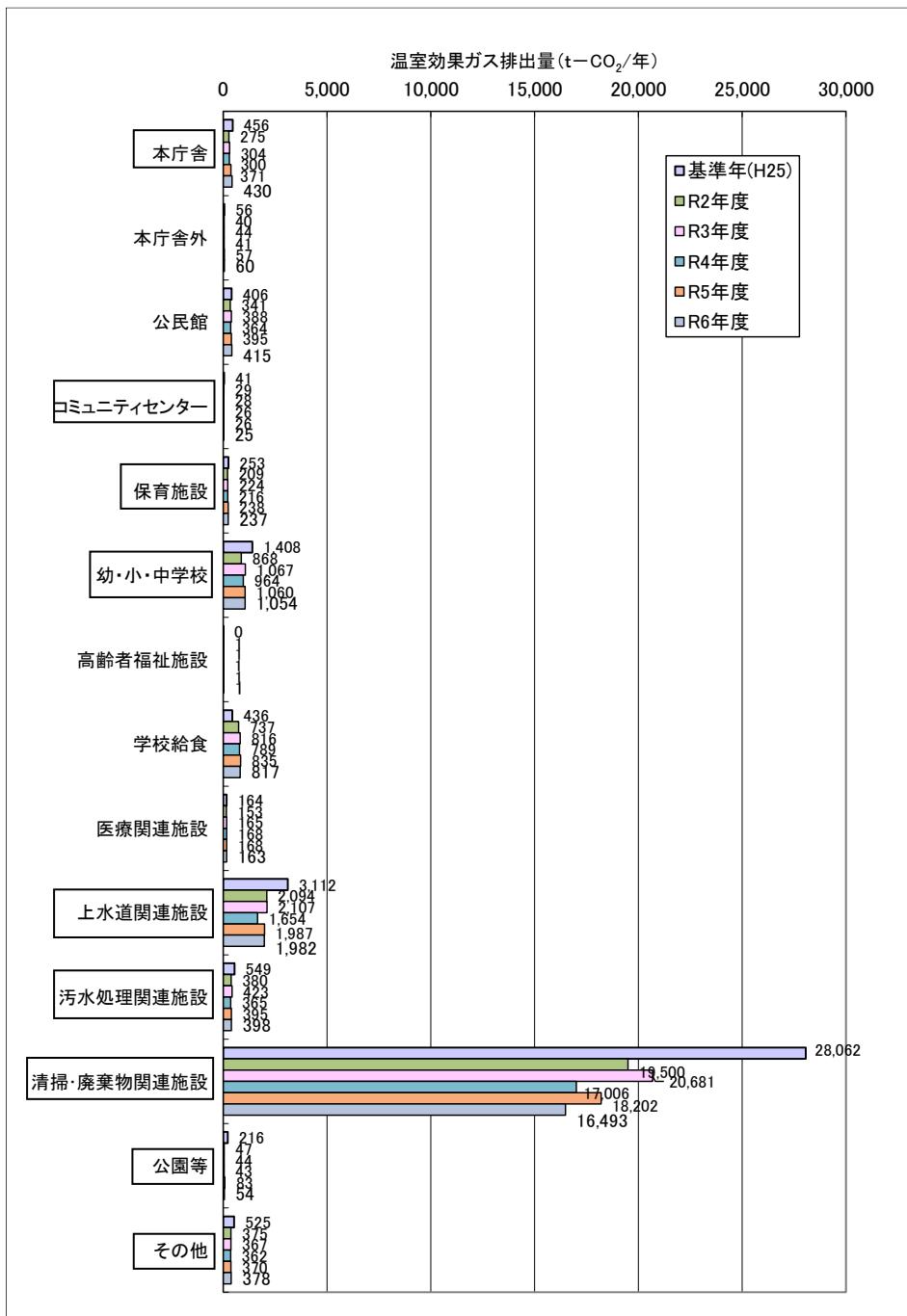


図4-3 (1) 施設区分別の温室効果ガス排出量の基準年との比較
(一般廃棄物焼却による温室効果ガス排出量を含む値)

※施設区分名が□囲みになっているものは基準年より削減された施設区分を表している。

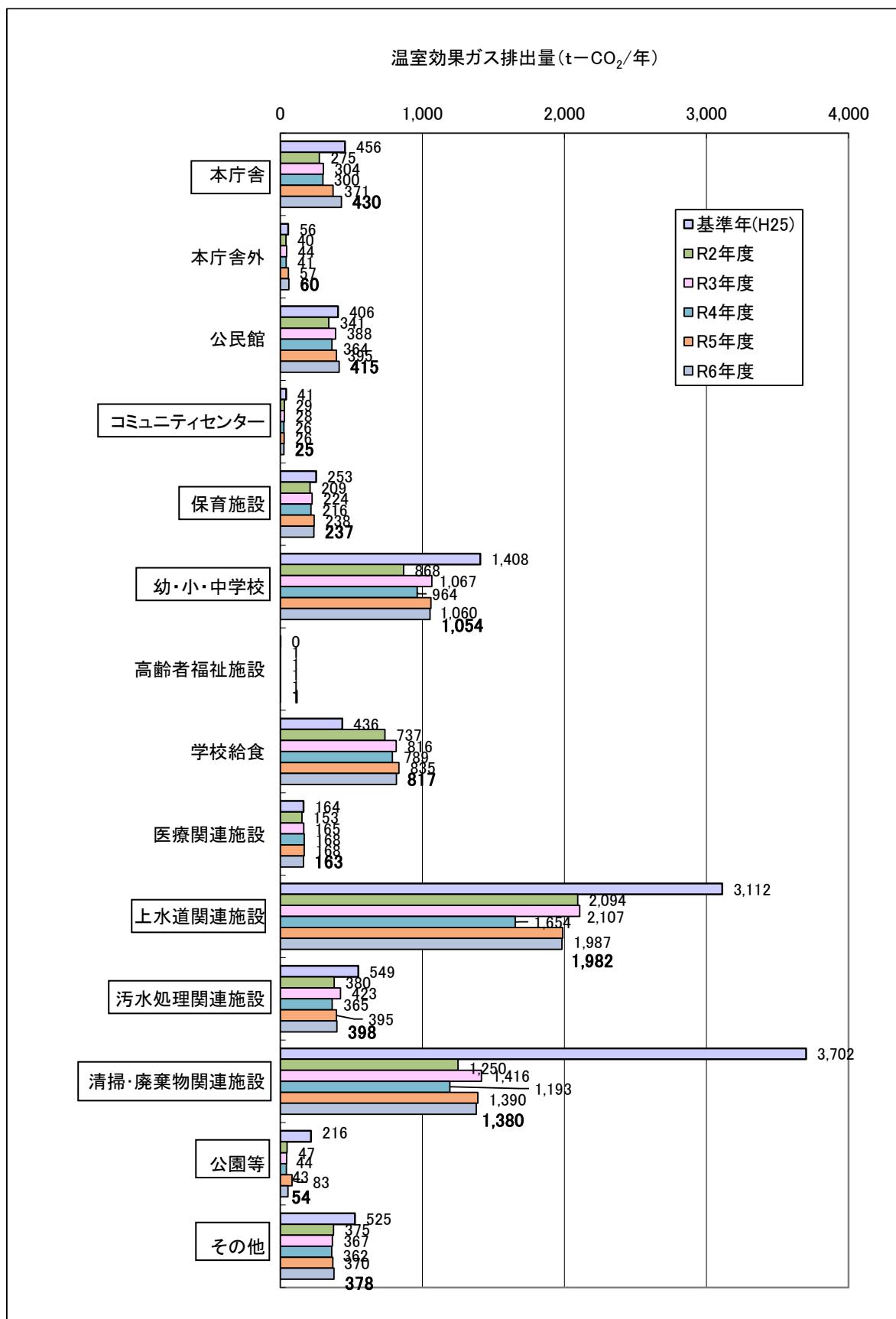


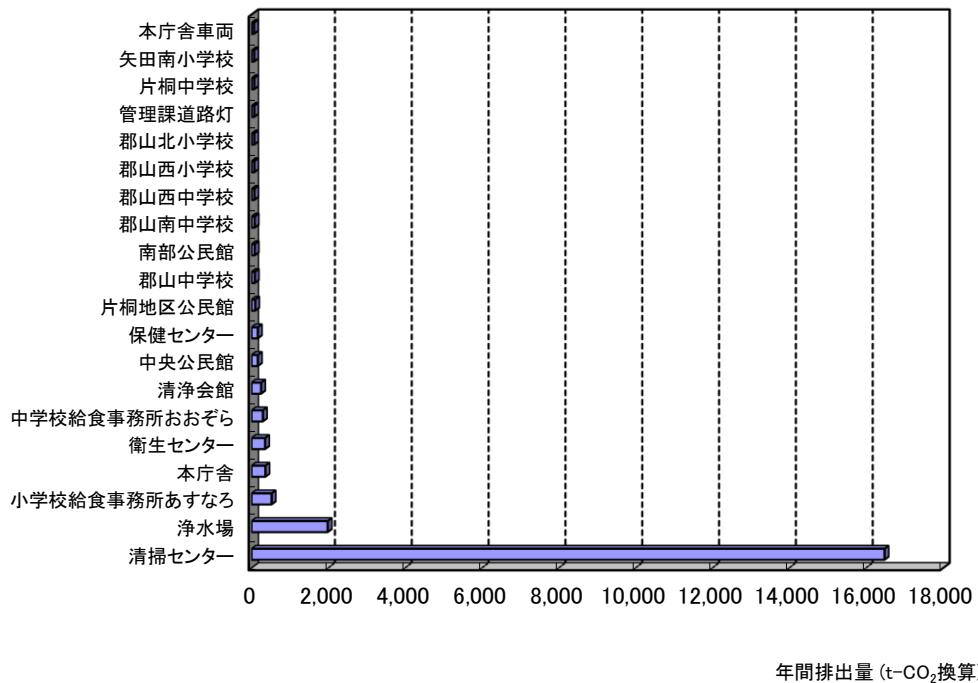
図 4-3 (2) 施設区分別の温室効果ガス排出量の基準年との比較

(一般廃棄物焼却による温室効果ガス排出量を除いた値)

※施設区分名が□囲みになっているものは基準年より削減された施設区分を表している。

(2) 温室効果ガス排出量の多い施設別の状況

温室効果ガス排出量を、施設別に上位 20 位までのものについて図 4-4 に示す。今年度より幼稚園・小学校・中学校を各園校別に集計した。一般廃棄物中のプラスチック類焼却による温室効果ガス排出量が最も多いことから、清掃センターの値が突出している。その他の施設では、浄水場が最も多く、次いで小学校給食事務所あすなろ、本庁舎、衛生センターの順となっている。この順序と排出量を昨年度と比較したものを表 4-3 に示す。上位 20 位中 6 の施設では昨年度より増加していることがわかる。なお、各部署単位の詳細データは資料編に掲載した。



●清掃センター以外を拡大すると…

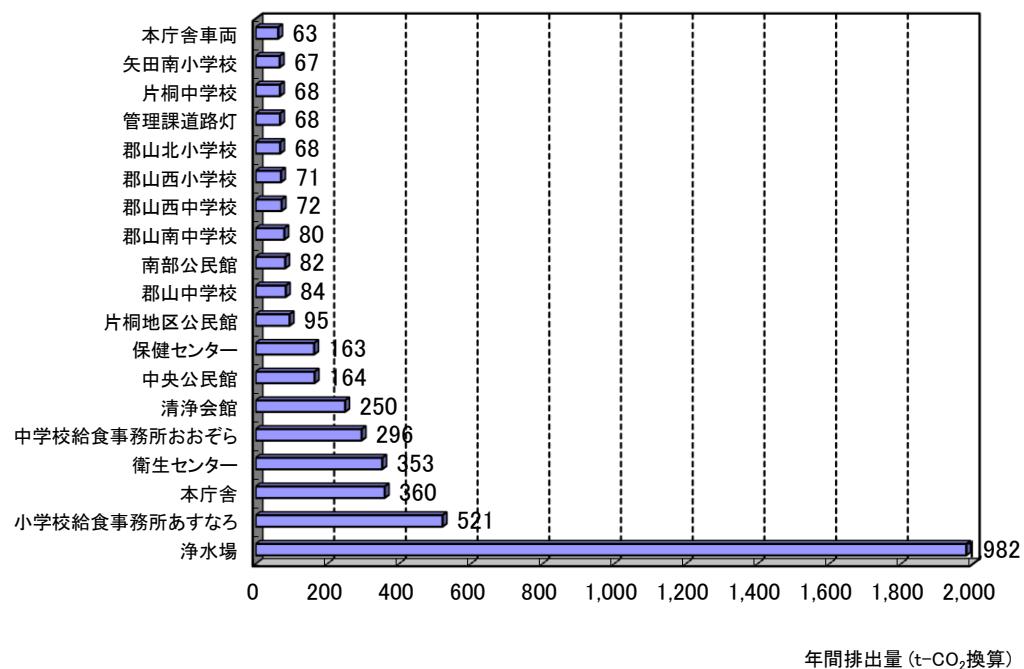


図 4-4 温室効果ガス排出量の多い個別施設の状況（上位 20 施設）

表 4-3 温室効果ガス排出量の多い個別施設の経年動向

順位	温室効果ガス排出量(t-CO ₂ 換算)			
	令和6年度		(参考) 令和5年度	
1	清掃センター	16,478	清掃センター	18,196
2	浄水場	1,982	浄水場	1,987
3	小学校給食事務所あすなろ	521	学校給食事務所	835
4	本庁舎	360	小学校全体	656
5	衛生センター	353	衛生センター	349
6	中学校給食事務所おおぞら	296	中学校全体	340
7	清浄会館	250	本庁舎	321
8	中央公民館	164	清浄会館	242
9	保健センター	163	保健センター	168
10	片桐地区公民館	95	中央公民館	145
11	郡山中学校	84	南部公民館	92
12	南部公民館	82	片桐地区公民館	88
13	郡山南中学校	80	管理課道路灯	68
14	郡山西中学校	72	的場古池公園深井戸	63
15	郡山西小学校	71	幼稚園全体	52
16	郡山北小学校	68	下水道ポンプ場	46
17	管理課道路灯	68	本庁舎車両	45
18	片桐中学校	68	矢田認定こども園	44
19	矢田南小学校	67	平和認定こども園	41
20	本庁舎車両	63	平和地区公民館	39

※令和5年度は幼稚園、小学校、中学校をそれぞれの合計値のみで集計していた。

(3) 発電施設による温室効果ガス排出削減量の状況

太陽光発電などの発電施設による、温室効果ガス排出削減量の状況を表4-4に示す。市では中央公民館、学校給食センター(2か所)、本庁舎に太陽光発電施設が設置されており、清掃センターでは廃棄物燃焼時の排熱を利用した蒸気発電を行っている(詳細は資料編(13), p. 78参照)。

各施設における本業務集計期間(令和5年10月～令和6年9月)の発電量は表4-4に示したように1,545,796kWhであった。

各施設の買電量合計より算出される削減効果は22%であり、削減量は556t-CO₂である。太陽光発電施設は温室効果ガス排出量の削減だけでなく、災害時の非常用電源としても役立つことから、今後も公共施設への設置検討が望まれる。

なお、表4-1の排出量は買電量を元に算出しており、上記の削減効果を含むものである。

表 4-4 発電施設による温室効果ガス排出削減量

発電施設	中央公民館	清掃センター	学校給食センター		本庁舎	計
			あすなろ	おおぞら		
システム出力	kW	太陽光発電	蒸気発電	太陽光発電	太陽光発電	-
発電量	kWh	16,788	1,481,011	21,486	2,205	20
買電量	kWh	264,768	3,306,426	514,852	305,127	984,709
全電力使用量	kWh	281,556	4,787,437	536,338	307,332	1,009,015
発電による買電削減率	%	6%	31%	4%	1%	2%
CO ₂ 削減量*	t-CO ₂	6	533	8	1	9
						556

※CO₂削減量算出に用いた排出係数：0.360(関西電力)

5. 職員の温室効果ガス排出削減意識調査

市の温室効果ガス排出量削減には、職員の真摯な取り組みが不可欠であることから、令和5年度に作成した取組状況調査項目案を踏まえ、2種類の調査を実施した。なお、調査票の配布と回収及び入力（電子データ化）は発注者（市）が実施した。

- ・地球温暖化対策に関する意識調査
- ・温室効果ガス排出削減行動の実施状況調査

5-1. 地球温暖化対策に関する意識調査

（1）実施目的

市の事務事業における温室効果ガス排出量削減の必要性や目標値等について、どの程度認知されているかを把握することを目的として実施した。基礎知識として世界的な状況、国の取組や県の計画についても認知度を把握するとともに、アンケート調査を通じて削減目標等の計画内容を普及し、意識の啓発を図ることも狙いとしている。

（2）実施概要

実施対象：正規職員、再任用職員、市役所勤務の会計年度任用職員等（818人）

実施時期：令和6年12月13日～令和7年1月10日（29日間）

実施内容：（3）に示した5問について認知度を問う内容。なお、部署・年齢・性別等の属性を問わない形式で実施したため、部署別等の集計は行わない。調査票は資料編（18），p.87に掲載する。

実施方法：アンケート回答用Webページを作成して府内インフォメーションを利用して回答を依頼

有効回答数：326件（回答率39.9%）

（3）実施結果

- ・地球温暖化の原因については「知らなかった」が65%で最も多く、日々の活動が温暖化につながっているという意識が希薄であることが伺われ、情報提供が必要である。ただし、温暖化の原因ではなくIPCCの見解についての知識の有無を回答された方がおられた可能性があるため、設問の文言を吟味する必要があると思われる。
- ・削減目標の周知度（「内容まで知っている」「きいたことがある」の合計）については、国の目標が70%と最も多く、県の目標は28%、市の目標は34%しか認知されていない。市の事務事業からの排出状況も同様に26%しか認知されておらず、職員全体への意識付けに対する工夫が必要である。
- ・その一方で、市の太陽光発電施設やごみ発電による創エネルギーへの取り組みは55%が認知しており、「内容まで知っている」が26%（4人に1人）である。

<p><u>問 1</u> 国際連合によって設置された IPCC という政府間の組織は、1990 年から 5~7 年程度ごとに気候変動に関連する評価報告書を公表しています。最新の同報告書において、初めて、人間の活動が地球を温暖化させてきたと断定する見解が示されたことを知っていますか。</p>	<p><u>人間活動と温暖化の関連</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知らないかった</td> <td>65%</td> </tr> <tr> <td>聞いたことがある</td> <td>32%</td> </tr> <tr> <td>内容まで知っている</td> <td>3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>N=326</p>	Response	Percentage	知らないかった	65%	聞いたことがある	32%	内容まで知っている	3%
Response	Percentage								
知らないかった	65%								
聞いたことがある	32%								
内容まで知っている	3%								
<p><u>問 2</u> 日本は地球温暖化対策推進法に基づき「2050 年カーボンニュートラル」宣言、2030 年に温室効果ガス排出量を 2013 年比で 46% 削減にする目標を掲げていることを知っていますか。</p>	<p><u>国の削減目標</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知らないかった</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>聞いたことがある</td> <td>63%</td> </tr> <tr> <td>内容まで知っている</td> <td>7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>N=326</p>	Response	Percentage	知らないかった	30%	聞いたことがある	63%	内容まで知っている	7%
Response	Percentage								
知らないかった	30%								
聞いたことがある	63%								
内容まで知っている	7%								
<p><u>問 3</u> 奈良県では 2050 年の温室効果ガス実質排出量ゼロを目指し、2030 年までに 2013 年比 45.9% 削減の目標を掲げていることを知っていますか。</p>	<p><u>県の削減目標</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知らないかった</td> <td>72%</td> </tr> <tr> <td>聞いたことがある</td> <td>26%</td> </tr> <tr> <td>内容まで知っている</td> <td>2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>N=326</p>	Response	Percentage	知らないかった	72%	聞いたことがある	26%	内容まで知っている	2%
Response	Percentage								
知らないかった	72%								
聞いたことがある	26%								
内容まで知っている	2%								
<p><u>問 4</u> 市では「大和郡山市地球温暖化対策推進事業計画（第四次）」を策定し、市の事務事業において、2026 (R8) 年度に 2013 (H25) 年度比 35% 削減の目標を掲げていることを知っていますか。</p>	<p><u>市の削減目標</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知らないかった</td> <td>66%</td> </tr> <tr> <td>聞いたことがある</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>内容まで知っている</td> <td>4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>N=326</p>	Response	Percentage	知らないかった	66%	聞いたことがある	30%	内容まで知っている	4%
Response	Percentage								
知らないかった	66%								
聞いたことがある	30%								
内容まで知っている	4%								
<p><u>問 5</u> 市では「本庁舎」「学校給食センター(2か所)」「中央公民館」での太陽光発電施設設置や、クリーンセンターでのごみ発電により創エネルギー取組み、排出削減対策をしていることを知っていますか。</p>	<p><u>市の創エネルギー取組</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知らないかった</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td>聞いたことがある</td> <td>29%</td> </tr> <tr> <td>内容まで知っている</td> <td>26%</td> </tr> </tbody> </table> <p>N=326</p>	Response	Percentage	知らないかった	45%	聞いたことがある	29%	内容まで知っている	26%
Response	Percentage								
知らないかった	45%								
聞いたことがある	29%								
内容まで知っている	26%								
<p><u>問 6</u> 問 4 の計画に対して、市では毎年事務事業による温室効果ガス排出量を集計し公表しています。現状では計画未達であり、2 年後の計画目標達成を確実なものとするためには、さらなる削減が求められていることを知っていますか。</p>	<p><u>市の事務事業からの排出状況</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知らないかった</td> <td>74%</td> </tr> <tr> <td>聞いたことがある</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>内容まで知っている</td> <td>4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>N=326</p>	Response	Percentage	知らないかった	74%	聞いたことがある	22%	内容まで知っている	4%
Response	Percentage								
知らないかった	74%								
聞いたことがある	22%								
内容まで知っている	4%								

図 5-1 地球温暖化対策に関する意識調査結果

【自由意見】… 各意見を分野別に整理し、以下に示す。

■全般的な内容

職員一人ひとりの意識改革が必要
当市の削減目標を知りませんでした。 もっとわかりやすく 市民にお知らせして ご協力をしてもらいましょう
具体的に周知してほしい
毎年の地球温暖化に伴う異常気象、悪循環が繰り返される中で、目標数値から増減があるものの現数値を維持できていることに努力を感じます。 削減対策については、排出量増加の原因と考えられる個々に対してのペナルティを科す らいいのことがないと、難しいと考えます。
未達成の主な要因は、新庁舎建設と学校施設への空調設備設置による電気使用量の大幅な 増加ではないですか？原因の分析はされているのでしょうか。必要に応じて計画目標の見 直しが必要では。単に未達成と言われても困ります。
削減対策として、インフルエンザの流行している中でのエアコン停止や業務中の電気消灯 とか、そういった手段ではなく、公共交通機関による通勤のみにするとか、タバコを禁止 するとか、大阪府みたいにネクタイ・スーツを見直すとか、そういったことも考えてほ しい。
何をどれくらい節約したら、どれくらい排出量が削減されるか、具体的な行動がわかれば 取り組みやすいと思われます。（例えば、こまめに電気を消したら年間でどれくらいの排 出量削減の効果が得られる等）
不要な事務作業を削って残業時間を少なくすることが温室効果ガス排出量削減につながる と思います。

■勤務時間について

業務量が多く、複雑化しているため、時間外での業務が多い。
奈良市役所のように市役所の受付時間を短縮すれば、温室効果ガス排出量削減を実現でき ると思います。ぜひ来庁者数調査などを経て市役所の受付時間を短縮してください。 https://www.city.nara.lg.jp/soshiki/5/221596.html
年末年始のように盆休みも完全閉庁にすれば良い

■電気使用について

本庁舎の新築によって、出先機関での電力消費等を抑制する取り組みが必要かと思われ る。
庁舎の照明や空調の使用時間を減らすと温室効果ガスの排出量削減ができると思 います。庁舎の開庁時刻（窓口受付時刻）を短くすることにより一部の照明や空調を切 ることが可能になると思います。
また、通年クールビズやウォームビズ（職員の働きやすい服装による勤務）を行 うことにより、夏季に無駄にジャケットを羽織る必要がなくなったり冬季に温かい服装を することができるため、過度な冷暖房の使用を抑制することができると思 います。
部署の位置関係によるのかもわかりませんが、夏寒く、冬は暖かすぎることが多いよう に思 うので、もう少し設定温度を調整してもよいのではないかと思 います。
クールビズ・ウォームビズは続けてほしい
夏はエアコンの温度が低くて寒くて上着を着ている職員がたくさんいるので、温 暖化防止 のためにも冷房を抑えたほうがいいと思 います。

換気を必要最低限にすることで、冷暖房にかかるエネルギーは抑制できると思う。

冷暖房の温度設定が適切であるか疑問です。

やはり室内灯のこまめな電源オフが必要

■自動車使用について

公用車を逐次、電気自動車に変えていけば市民への温室効果ガス排出量削減をアピールすることができるが、そのためには充電スタンドを庁舎駐車場内に整備することが必要で、費用対効果、補助金など検討すべきと考える。

庁舎だけの取組ではなく、職員の行動として、車通勤をやめて、公共交通機関による通勤を徹底するようにした方が良い。

■廃棄物について

紙（コピー用紙や封筒）のリサイクルを推進するために庁舎内に回収場所を設置してはどうでしょうか。ダンボールについても、一定量保管する場所を作ってはどうでしょうか。保管場所がないので廃棄するしかないのが現状です。

ゴミ発電とありますが、プラスチック等は焼却ではなくリサイクルできるとより良いのかなと思います。紙ベースを減らすことも引き続き必要だと思います。

ゴミ収集時における分別について検討する時期が近づいていると感じる。

ゴミを今以上に細かく分別を行う

電子決裁の導入、ペーパレス化の推進

■創エネルギーについて

無駄な紙の印刷が多いので、ペーパレスや印刷する枚数の削減などに取り組んだほうがいいと思います。

太陽光発電設備の各小学校及び中学校校舎への設置で教室などへのエアコン設置で増大する電気代に充てることも可能だが、費用対効果、補助金など検討すべきと考える。

太陽光パネルは耐用年数経過後の廃棄の問題があるので積極的に推進するのはよろしくない。

太陽光発電のメリットがあまり考えられない。

■その他

太陽活動との関連について、明確化されていないのではないか。

アンケート回答をすることで、現状を知れたので良かった。

5－2. 温室効果ガス排出削減行動の実施状況調査

(1) 実施目的

市の実行計画および毎年の報告書には、温室効果ガス排出量の削減にむけた行動指針として具体的な項目が記載されているが、どの程度実施されているかについてはこれまで把握されてこなかった。本調査では対象となる部署別施設別にその実施率をアンケート調査により把握し、職員の意識を高めるとともに、今後の効果的な削減計画を立てる上での参考資料を得ることを目的とする。

(2) 実施概要

実施対象：本事業の対象施設（表 2-1, p. 4～5 参照）のうち 77 施設（職員の常駐しない施設等を除く）

実施時期：令和 6 年 12 月 13 日～26 日（14 日間）の任意の 7 日間

実施内容：「大和郡山市地球温暖化対策推進事業計画書（第四次），令和 4 年，大和郡山市」実行計画に記載された取り組み内容（p. 15～17）に示した内容について実施の有無を問う内容。調査票は資料編に掲載。

実施方法：アンケート回答用エクセルシートを作成してメール送付により回答を依頼

有効回答数：77 件（回答率 100%）

(3) 実施結果

表 5-1 に示した 7 項目別実施状況を以下のように点数化し、実行率を算定する。

毎回やっている…10 点

半分程度やっている…5 点

たまにやっている…2 点

やっていない…0 点

できない・該当しない…集計対象外

として、全項目数を分母として実施率を部署別および施設区分別に集計した。表 5-2、表 5-3 に示す。

表 5-1 取組状況調査項目

- | |
|-------------------------------|
| (1) 事務事業での取り組み状況について |
| (ア) 照明 |
| (イ) 空調 |
| (ウ) パソコン、コピー機等の OA 機器、その他電気製品 |
| (エ) 公用車の使用 |
| (オ) 紙の使用 |
| (カ) 文具・事務用品 |
| (キ) 廃棄物 |
| (2) その他自由意見 |

これらの結果より、

- ・照明、空調、公用車、廃棄物については実施率の高い項目が多かった。
- ・市全体ではいずれの項目も 60% 以上の実施率であった。
- ・文具用品の購入に関して、環境ラベリング商品の購入率が 60% 程度であり比較的低いため、情報提供が必要である。
- ・公用車の利用については比較的実施率が低かったが、業務上の移動では公用車を使わざるを得ない状況が多いことが伺われるため、文言に配慮することを検討する必要がある。
- ・「毎週水曜日のノー残業デーの徹底」は業務上支障が出る場合があるので、これについても文言に配慮することを検討する必要がある。
- ・自由意見より、この調査を通じて具体的な温暖化対策の取り組み内容がわかつた、意識付けになった、との回答を頂いた。学校の中には、教職員 1 人ひとりへの啓発や、保護者への手

紙に再利用封筒を使うなどの指導もして下さっている学校があり、このような良い取組を情報共有して全体に広がるような仕組みづくりができるとよい。調査実施の意義は高かったものとみることができる。

表 5-2 部署別削減行動実施率（1）

部署名	総務部	市民生活部	福祉部	すこやか健康づくり部	産業振興部
1. 電気使用量の削減について					
1-1. 照明について					
問1-1-1 会議室、更衣室、給湯室、倉庫等の照明は、使用後必ず消灯する。	100%	90%	100%	80%	78%
問1-1-2 各職場の最終退出者は必ずすべての照明器具の消灯を確認し退出する。	94%	100%	100%	90%	78%
問1-1-3 購入の際は省電力タイプのものを購入する。	65%	47%	100%	63%	75%
1-2. 空調について					
問1-2-1 各部屋に温度計を設置し、個別にエアコン等の温度設定が可能な部屋では、冷暖房温度は室温が冷房時28℃、暖房時19℃を目安にする。	88%	75%	100%	75%	64%
問1-2-2 空調、冷暖房機器は必要な時だけ使用する。	88%	88%	100%	80%	83%
問1-2-3 冷暖房効率を上げるために、カーテン、ブラインドを活用する。	86%	47%	47%	70%	78%
問1-2-4 夏期は翌朝の温度上昇を防ぐため、退店時にはカーテン、ブラインドを閉める。	91%	100%	73%	84%	78%
問1-2-5 “クールビズ”や“ウォームビズ”等、季節に合わせた服装にする。	100%	90%	100%	100%	100%
問1-2-6 各職場の最終退出者は、閉店（館）時は最後に空調・換気などの消し忘れがないか確認する。	83%	100%	73%	90%	73%
1-3. パソコン、コピー機等のOA機器、その他電気製品について					
問1-3-1 エレベーターは荷物搬送を除き、極力使用を控える。	81%	83%	83%	88%	100%
問1-3-2 星休み中や離席時などのパソコンのスリープ機能の活用、外出時や退店時の電源OFFを徹底している。	78%	84%	40%	68%	92%
問1-3-3 パソコンモニターの輝度を業務に支障のない範囲で下げている。	81%	90%	50%	75%	65%
問1-3-4 パソコン、プリンタ、コピー機などのOA機器は低電力モードを有効にしている。	84%	84%	60%	74%	78%
問1-3-5 デスクトップコンピュータの電源OFF時には、モニタの電源も切るようにしている。	71%	75%	100%	75%	90%
問1-3-6 各職場の最終退出者は必ずすべてのOA機器の電源OFFを確認し退出している。	84%	70%	60%	74%	70%
問1-3-7 購入の際は、適正規模の機器を選択するとともに、エネルギー消費効率の高い製品やインバーター式等の省エネルギー型の製品を購入する。	70%	48%	0%	67%	84%
問1-3-8 公務能率の向上等により、毎週水曜日の「ノー残業デー」の徹底をはじめとした時間外勤務の縮減に取り組み、就業時間以降の消灯・節電に努めている。	80%	80%	73%	70%	78%
2. 公用車の使用について					
問2-1 公用車の利用頻度を減らし、自転車または公共交通機関の利用に切り替える。	71%	58%	20%	57%	68%
問2-2 公用車の使用にあたっては、効率的な運行を行い、可能な限り相乗りを励行する。	86%	90%	73%	64%	60%
問2-3 緩やかな発進、加減速の少ない運転を徹底する。	100%	84%	100%	70%	83%
問2-4 長時間の停車時、荷物の積み降ろし等ではエンジンを切っている。	94%	70%	73%	90%	78%
問2-5 エアコンの使用は控えめにし、使用する際には適正な温度と風量なるようこまめに調節している。	94%	80%	73%	80%	67%
問2-6 不要な荷物を積みっぱなしにしない。	94%	80%	100%	90%	83%
3. 紙の使用について					
問3-1 安易なコピーをしないよう徹底し、紙使用量の削減に努める。	89%	74%	73%	80%	70%
問3-2 必要に応じて両面印刷を活用し、ミスコピーの裏面使用を徹底するなど紙使用量の削減に努める。	89%	80%	57%	74%	65%
問3-3 コピー機使用後は必ずリセットボタンを押す。	94%	58%	83%	90%	70%
問3-4 電子メール、府内 LAN を活用し、ペーパーレス化を図る。	100%	84%	57%	64%	58%
問3-5 個人保有の書類を極力削減し、電子情報として共有ドライブを活用するなど、保存書類の削減を徹底する。	89%	70%	67%	64%	65%
問3-6 会議資料は簡素化と共有化を図り、ページ数や部数等を最小限にする。	94%	64%	73%	70%	74%
4. 文具・事務用品について					
問4-1 購入の際は、エコマーク、グリーンマーク、エネルギー☆マーク等の環境ラベリング商品を選択する。	60%	55%	60%	70%	55%
問4-2 部品の交換修理が可能な製品や保守、修理サービス期間の長い製品等を購入する。	80%	64%	73%	54%	57%
問4-3 使い捨て製品の購入はできるだけ控え、詰め替え可能な製品を選択する。	78%	80%	100%	60%	70%
問4-4 廃棄の際に環境への負荷の少ない商品、リサイクルシステムの確立している商品を購入する。	71%	63%	73%	54%	64%
5. 廃棄物について					
問5-1 ごみの分別を徹底し、焼却量の削減と資源のリサイクルを図っている。	89%	80%	83%	80%	92%
問5-2 使用済み封筒やファイル等の再利用を行う。	89%	74%	83%	90%	78%
問5-3 廃棄図書等、名刺より大きな紙は雑紙として回収BOXを設置し、リサイクルを徹底する。	86%	100%	100%	57%	74%

■ 80%以上、■ 20%未満

表 5-2 部署別削減行動実施率 (2)

部署名	都市建設部	上下水道部	教育委員会事務局	その他	市全体
1. 電気使用量の削減について					
1-1. 照明について					
問1-1-1 会議室、更衣室、給湯室、倉庫等の照明は、使用後必ず消灯する。	92%	100%	95%	90%	93%
問1-1-2 各職場の最終退出者は必ずすべての照明器具の消灯を確認し退出する。	100%	100%	95%	100%	95%
問1-1-3 購入の際は省電力タイプのものを購入する。	100%	100%	63%	68%	67%
1-2. 空調について					
問1-2-1 各部屋に温度計を設置し、個別にエアコン等の温度設定が可能な部屋では、冷暖房温度は室温が冷房時28°C、暖房時19°Cを自安にする。	70%	100%	71%	68%	75%
問1-2-2 空調、冷暖房機器は必要な時だけ使用する。	78%	100%	98%	74%	91%
問1-2-3 冷暖房効率を上げるため、カーテン、ブラインドを活用する。	73%	100%	78%	100%	77%
問1-2-4 夏期は翌朝の温度上昇を防ぐため、退廻時にはカーテン、ブラインドを閉める。	100%	100%	84%	100%	89%
問1-2-5 “クールビズ”や“ウォームビズ”等、季節に合わせた服装にする。	100%	100%	95%	100%	97%
問1-2-6 各職場の最終退出者は、閉庁(館)時は最後に空調・換気などの消し忘れがないか確認する。	83%	100%	94%	100%	90%
1-3. パソコン、コピー機等のOA機器 その他電気製品について					
問1-3-1 エレベーターは荷物搬送を除き、極力使用を控える。	83%	-	97%	80%	89%
問1-3-2 昼休み中や離席時などのパソコンのスリープ機能の活用、外出時や退廻時の電源OFFを徹底している。	83%	75%	79%	90%	79%
問1-3-3 パソコンモニターの輝度を業務に支障のない範囲で下げている。	100%	100%	76%	80%	79%
問1-3-4 パソコン、プリンタ、コピー機などのOA機器は低電力モードを有効にしている。	83%	75%	80%	74%	79%
問1-3-5 デスクトップコンピュータの電源OFF時には、モニタの電源も切るようにしている。	80%	100%	98%	100%	88%
問1-3-6 各職場の最終退出者は必ずすべてのOA機器の電源OFFを確認し退出している。	67%	100%	88%	84%	81%
問1-3-7 購入の際は、適正規格の機器を選択するとともに、エネルギー消費効率の高い製品やインバーター式等の省エネルギー型の製品を購入する。	100%	100%	80%	75%	76%
問1-3-8 公務能率の向上等により、毎週水曜日の「ノー残業デー」の徹底をはじめとした時間外勤務の縮減に取り組み、就業時間以降の消灯・節電に努めている。	55%	100%	72%	100%	76%
2. 公用車の使用について					
問2-1 公用車の利用頻度を減らし、自転車または公共交通機関の利用に切り替える。	68%	60%	62%	58%	62%
問2-2 公用車の使用にあたっては、効率的な運行を行い、可能な限り相乗りを励行する。	92%	100%	81%	74%	80%
問2-3 緩やかな発進、加減速の少ない運転を徹底する。	83%	75%	94%	100%	90%
問2-4 長時間の停車時、荷物の積み降ろし等ではエンジンを切っている。	70%	100%	92%	100%	87%
問2-5 エアコンの使用は控えめにし、使用する際には適正な温度と風量なるようこまめに調節している。	70%	100%	80%	88%	81%
問2-6 不要な荷物を積みっぱなしにしない。	100%	100%	95%	100%	93%
3. 紙の使用について					
問3-1 安易なコピーをしないよう徹底し、紙使用量の削減に努める。	92%	75%	85%	90%	83%
問3-2 必要に応じて両面印刷を活用し、ミスコピーの裏面使用を徹底するなど紙使用量の削減に努める。	83%	100%	87%	80%	82%
問3-3 コピー機使用後は必ずリセットボタンを押す。	100%	100%	88%	60%	84%
問3-4 電子メール、府内 LAN を活用し、ペーバーレス化を図る。	83%	60%	74%	80%	76%
問3-5 個人保有の書類を極力削減し、電子情報として共有ドライブを活用するなど、保存書類の削減を徹底する。	92%	75%	75%	80%	76%
問3-6 会議資料は簡素化と共有化を図り、ページ数や部数等を最小限にする。	83%	75%	79%	100%	80%
4. 文具・事務用品について					
問4-1 購入の際は、エコマーク、グリーンマーク、エネルギースターマーク等の環境ラベリング商品を選択する。	74%	75%	61%	42%	61%
問4-2 部品の交換修理が可能な製品や保守、修理サービス期間の長い製品等を購入する。	90%	100%	70%	68%	71%
問4-3 使い捨て製品の購入はできるだけ控え、詰め替え可能な製品を選択する。	100%	100%	82%	54%	79%
問4-4 廉価の際に環境への負荷の少ない商品、リサイクルシステムの確立している商品を購入する。	60%	75%	63%	54%	63%
5. 廃棄物について					
問5-1 ごみの分別を徹底し、焼却量の削減と資源のリサイクルを図っている。	100%	100%	94%	90%	91%
問5-2 使用済み封筒やファイル等の再利用を行う。	83%	100%	86%	100%	86%
問5-3 廃棄図書等、名刺より大きな紙は雑紙として回収BOXを設置し、リサイクルを徹底する。	60%	75%	65%	68%	73%

■ 80%以上、■ 20%未満

表 5-3 施設区分別削減行動実施率（1）

施設区分	本庁舎	本庁舎外	公民館	コミュニティセンター	保育施設
1. 電気使用量の削減について					
1-1. 照明について					
問1-1-1 会議室、更衣室、給湯室、倉庫等の照明は、使用後必ず消灯する。	92%	100%	92%	75%	100%
問1-1-2 各職場の最終退出者は必ずすべての照明器具の消灯を確認し退出する。	92%	90%	100%	100%	100%
問1-1-3 購入の際は省電力タイプのものを購入する。	74%	75%	67%	20%	50%
1-2. 空調について					
問1-2-1 各部屋に温度計を設置し、個別にエアコン等の温度設定が可能な部屋では、冷暖房温度は室温が冷房時28°C、暖房時19°Cを目安にする。	81%	80%	75%	50%	50%
問1-2-2 空調、冷暖房機器は必要な時だけ使用する。	84%	100%	100%	100%	100%
問1-2-3 冷暖房効率を上げるため、カーテン、ブラインドを活用する。	77%	100%	100%	20%	75%
問1-2-4 夏期は翌朝の温度上昇を防ぐため、退廻時にはカーテン、ブラインドを閉める。	90%	100%	92%	100%	100%
問1-2-5 “クールビズ”や“ウォームビズ”等、季節に合わせた服装にする。	100%	100%	100%	75%	100%
問1-2-6 各職場の最終退出者は、閉庁（館）時は最後に空調・換気などの消し忘れがないか確認する。	82%	90%	100%	100%	100%
1-3. パソコン、コピー機等のOA機器、その他電気製品について					
問1-3-1 エレベーターは荷物搬送を除き、極力使用を控える。	85%	100%	50%	—	100%
問1-3-2 星休み中や離席時などのパソコンのスリープ機能の活用、外出時や退廻時の電源OFFを徹底している。	76%	80%	80%	100%	60%
問1-3-3 パソコンモニターの輝度を業務に支障のない範囲で下げている。	80%	100%	78%	75%	75%
問1-3-4 パソコン、プリンタ、コピー機などのOA機器は低電力モードを有効にしている。	73%	83%	78%	100%	100%
問1-3-5 デスクトップコンピュータの電源OFF時には、モニタの電源も切るようにしている。	82%	100%	100%	50%	50%
問1-3-6 各職場の最終退出者は必ずすべてのOA機器の電源OFFを確認し退出している。	69%	100%	92%	75%	100%
問1-3-7 購入の際は、適正規模の機器を選択するとともに、エネルギー消費効率の高い製品やインバーター式等の省エネルギー型の製品を購入する。	74%	75%	90%	35%	50%
問1-3-8 公務能率の向上等により、毎週水曜日の「ノー残業デー」の徹底をはじめとした時間外勤務の縮減に取り組み、就業時間以降の消灯・節電に努めている。	73%	100%	100%	100%	75%
2. 公用車の使用について					
問2-1 公用車の利用頻度を減らし、自転車または公共交通機関の利用に切り替える。	63%	60%	80%	35%	20%
問2-2 公用車の使用にあたっては、効率的な運行を行い、可能な限り相乗りを励行する。	83%	88%	100%	100%	60%
問2-3 緩やかな発進、加減速の少ない運転を徹底する。	92%	88%	87%	100%	75%
問2-4 長時間の停車時、荷物の積み降ろし等ではエンジンを切っている。	81%	100%	100%	50%	100%
問2-5 エアコンの使用は控えめにし、使用する際には適正な温度と風量なるようこまめに調節している。	78%	100%	92%	75%	100%
問2-6 不要な荷物を積みっぱなしにしない。	94%	90%	100%	75%	100%
3. 紙の使用について					
問3-1 安易なコピーをしないよう徹底し、紙使用量の削減に努める。	81%	88%	87%	75%	100%
問3-2 必要に応じて両面印刷を活用し、ミスコピーの裏面使用を徹底するなど紙使用量の削減に努める。	78%	80%	78%	75%	100%
問3-3 コピー機使用後は必ずリセットボタンを押す。	85%	88%	92%	60%	75%
問3-4 電子メール、府内LANを活用し、ペーパーレス化を図る。	81%	68%	87%	100%	60%
問3-5 個人保有の書類を極力削減し、電子情報として共有ドライブを活用するなど、保存書類の削減を徹底する。	78%	88%	87%	50%	60%
問3-6 会議資料は簡素化と共有化を図り、ページ数や部数等を最小限にする。	81%	88%	78%	50%	75%
4. 文具・事務用品について					
問4-1 購入の際は、エコマーク、グリーンマーク、エネルギースターマーク等の環境ラベリング商品を選択する。	57%	57%	68%	50%	75%
問4-2 部品の交換修理が可能な製品や保守、修理サービス期間の長い製品等を購入する。	74%	80%	70%	75%	35%
問4-3 使い捨て製品の購入はできるだけ控え、詰め替え可能な製品を選択する。	79%	68%	70%	75%	50%
問4-4 廉棄の際に環境への負荷の少ない商品、リサイクルシステムの確立している商品を購入する。	65%	57%	70%	50%	35%
5. 廃棄物について					
問5-1 ごみの分別を徹底し、焼却量の削減と資源のリサイクルを図っている。	88%	100%	100%	75%	100%
問5-2 使用済み封筒やファイル等の再利用を行う。	83%	90%	78%	100%	100%
問5-3 廉棄図書等、名刺より大きな紙は雑紙として回収BOXを設置し、リサイクルを徹底する。	77%	75%	68%	100%	20%

■ 80%以上、■ 20%未満

表 5-3 施設区分別削減行動実施率 (2)

施設区分	幼・小・中学校	学校給食	医療関連施設	汚水処理関連施設	清掃廃棄物関連施設	市全体
1. 電気使用量の削減について						
I-1. 照明について						
問1-1-1 会議室、更衣室、給湯室、倉庫等の照明は、使用後必ず消灯する。	95%	100%	100%	100%	20%	93%
問1-1-2 各職場の最終退出者は必ずすべての照明器具の消灯を確認し退出する。	100%	100%	100%	100%	50%	95%
問1-1-3 購入の際は省電力タイプのものを購入する。	61%	無回答	100%	50%	0%	67%
I-2. 空調について						
問1-2-1 各部屋に温度計を設置し、個別にエアコン等の温度設定が可能な部屋では、冷暖房温度は室温が冷房時28℃、暖房時19℃を目標にする。	69%	-	100%	20%	0%	75%
問1-2-2 空調、冷暖房機器は必要な時だけ使用する。	98%	100%	100%	50%	50%	91%
問1-2-3 冷暖房効率を上げるため、カーテン、ブラインドを活用する。	64%	100%	100%	100%	50%	77%
問1-2-4 夏期は翌朝の温度上昇を防ぐため、退勤時にはカーテン、ブラインドを閉める。	74%	100%	100%	100%	50%	89%
問1-2-5 “クールビズ”や“ウォームビズ”等、季節に合わせた服装にする。	93%	100%	100%	100%	100%	97%
問1-2-6 各職場の最終退出者は、閉庁(館)時は最後に空調・換気などの消し忘れがないか確認する。	100%	100%	100%	100%	20%	90%
I-3. パソコン、コピー機器等のOA機器、その他電気製品について						
問1-3-1 エレベーターは荷物搬送を除き、極力使用を控える。	100%	100%	100%	-	-	89%
問1-3-2 屋休み中や離席時などのパソコンのスリープ機能の活用、外出時や退勤時の電源OFFを徹底している。	82%	100%	100%	100%	50%	79%
問1-3-3 パソコンモニターの輝度を業務に支障のない範囲で下げている。	77%	100%	100%	20%	20%	79%
問1-3-4 パソコン、プリンタ、コピー機などのOA機器は低電力モードを有効にしている。	85%	100%	100%	100%	20%	79%
問1-3-5 デスクトップコンピュータの電源OFF時には、モニタの電源も切るようにしている。	96%	100%	100%	50%	100%	88%
問1-3-6 各職場の最終退出者は必ずすべてのOA機器の電源OFFを確認し退出している。	90%	100%	100%	100%	50%	81%
問1-3-7 購入の際は、適正規格の機器を選択するとともに、エネルギー消費効率の高い製品やインバーター式等の省エネルギー型の製品を購入する。	76%	100%	100%	100%	0%	76%
問1-3-8 公務能率の向上等により、毎週水曜日の「ノー残業デー」の徹底をはじめとした時間外勤務の縮減に取り組み、就業時間以降の消灯・節電に努めている。	64%	100%	100%	100%	50%	76%
2. 公用車の使用について						
問2-1 公用車の利用頻度を減らし、自転車または公共交通機関の利用に切り替える。	59%	-	100%	0%	50%	62%
問2-2 公用車の使用にあたっては、効率的な運行を行い、可能な限り相乗りを励行する。	63%	100%	100%	20%	20%	80%
問2-3 緩やかな発進、加減速の少ない運転を徹底する。	95%	100%	100%	50%	50%	90%
問2-4 長時間の停車時、荷物の積み降ろし等ではエンジンを切っている。	100%	100%	100%	100%	20%	87%
問2-5 エアコンの使用は控えめにし、使用する際には適正な温度と風量なるようこまめに調節している。	77%	100%	100%	50%	50%	81%
問2-6 不要な荷物を積みっぱなしにしない。	95%	100%	100%	100%	50%	93%
3. 紙の使用について						
問3-1 安易なコピーをしないよう徹底し、紙使用量の削減に努める。	87%	100%	100%	50%	20%	83%
問3-2 必要に応じて両面印刷を活用し、ミスコピーの裏面使用を徹底するなど紙使用量の削減に努める。	91%	100%	100%	50%	20%	82%
問3-3 コピー機使用後は必ずリセットボタンを押す。	85%	100%	100%	50%	0%	84%
問3-4 電子メール、府内LANを活用し、ペーパーレス化を図る。	68%	100%	100%	20%	0%	76%
問3-5 個人保有の書類を極力削減し、電子情報として共有ドライブを活用するなど、保存書類の削減を徹底する。	71%	100%	100%	100%	20%	76%
問3-6 会議資料は簡素化と共有化を図り、ページ数や部数等を最小限にする。	81%	100%	100%	50%	0%	80%
4. 文具・事務用品について						
問4-1 購入の際は、エコマーク、グリーンマーク、エネルギースターマーク等の環境ラベリング商品を選択する。	61%	100%	100%	50%	0%	61%
問4-2 部品の交換修理が可能な製品や保守、修理サービス期間の長い製品等を購入する。	69%	100%	100%	20%	50%	71%
問4-3 使い捨て製品の購入はできるだけ控え、詰め替え可能な製品を選択する。	89%	100%	100%	50%	20%	79%
問4-4 廃棄の際に環境への負荷の少ない商品、リサイクルシステムの確立している商品を購入する。	63%	100%	100%	20%	0%	63%
5. 廃棄物について						
問5-1 ごみの分別を徹底し、焼却量の削減と資源のリサイクルを図っている。	93%	100%	100%	50%	100%	91%
問5-2 使用済み封筒やファイル等の再利用を行う。	93%	100%	100%	20%	50%	86%
問5-3 廃棄図書等、名刺より大きな紙は雑紙として回収BOXを設置し、リサイクルを徹底する。	68%	100%	0%	20%	無回答	73%

80%以上、 20%未満

【削減行動実施状況調査に対する自由意見】

使わない部屋の電気は消灯するなど、ほんの些細なことで、温暖化抑止に貢献できるのであれば、今後も続けていこうと思いました。

各自が常に意識して取り組む事が大事である。

フロア内の最終退出者となることがなかった。

ペーパーレス化の重要性は認識しているが、決裁文書として保存する必要があるため、限界を感じている。

やるべきことを箇条書きにして、周知すれば意識して取り組むことができると実感した。今後も継続していきます。

身の回りで少しずつ無駄を省く取り組みの積み重ねは大切だが、大胆に温暖化対策に取り組む必要も感じていて、どこで二酸化炭素が大量に排出されているかを把握して、そのシーンでの温暖化対策も必要か、と思う。

継続して実施することの難しさを実感した。

小さなことでも温室効果ガス削減につながっていると思うとやりがいがあると思います。

定期的な声掛けによって「つい、うっかり」ということを少しは減らせると思う。空調設備に関しては冬場よりも、夏場の取り組みのほうが有意義に思う。

個人で取り組むだけでは限度があり、職員ひとり一人に統一した意識づけを行う必要があると思います。

5日間、意識して実践することができました。1~2の空調について、近年の夏場の猛暑の際には、幼児の健康を守るため、冷房28°C設定の実施が難しい時もあります。今後も引き続き可能な範囲で取り組みに努めたいと思います。

温室効果ガス削減への取り組みについて、改善すべき点を具体的に知ることができた。職員に周知し声をかけることで職員の意識付けにも繋がった。エアコンの設定温度やミスコピーの裏面使用等、手軽に誰もが始めることが出来ることについては、今後、毎回できるように努めたい。

園内では、不要な箇所の電気や空調については普段から意識的に取り組むことができている。

出張については、私有自動車の公務使用をしているが、自転車や公共の交通機関の利用ができないために実行できなかった。

今回の調査で、会議等での資料の電子データでの共有など、まだまだ温室効果ガス削減への意識を高めた取り組みがあることを見直すきっかけになったと思われる。

保育室・職員室で暖房器具を使用している際は、出入り時に開閉する、温度調整を行うなど、気をつけているなど、自分たちでできることは気を付けることができた。預かり保育利用時の午睡の時間帯など、活動によっては、規定の温度よりもあげる必要がある。職員室においては、上着をはおる等、各自必要に応じて体温調整を行うなど、引き続き、個人の意識を高められるよう取組みたい。

項目を挙げていただいているので、取り組みについて意識しやすかった。

園では共有ドライブなどがないため、まだ紙媒体での資料での共有が多い。だが、裏紙の再利用などは意識している。

学校現場なので、全ての項目について実施することはできなかったが、改めてできることを見直してみると、日頃から意識してできていることが多いことがわかりました。引き続き、環境を意識して、また一つでもできることができるよう積み重ねていきたいと思う。

できることは限られているかもわかりませんが、できることを少しづつでも取り組んでいくことが大切なことだと感じました。

空調については、一部できた部分はあるが、各教室で温度設定をしながら取り組むのは難しいと感じる。

暑さ寒さが厳しいと、各教室では換気を行いながら空調を使用しているので、どうしても適切な温度設定で使用できない。

意識しなければいけないことがたくさんあると感じました。今回は職務上のチェックが主であったが、個人に立ち返っても様々な取り組みができると思いました。また、温室効果ガス削減の取り組みを進めることは税金の無駄遣いを減らすことにも繋がるため今後も職員一同意識しながら業務を進めていたらと考えております。

本校では日常から意識して実践をしているので、続けて省エネに取り組みたいと考える。市役所内ではどれくらいの節電に取り組まれているのか、ご教示いただきたい。

暖房を20°Cに設定してみたが、やはり「寒い」という意見が多かった。温暖化対策が必要なことは理解しているが、運用上、23°C程度の暖房が適当と考えている。

今回、5日間取り組んだ各項目は2日間の図書館休館日を除いては実施しているので、今後はそれ以外の項目についても取り組んでいきたい。

(1) 照明について

会議や子どもたちの着替えで使用した部屋の照明がつけたままになることが稀にあるので、担当者がきちんと消灯・戸締まりができるよう再度確認した。

(2) 空調について

温度計が設置できていない部屋にも温度計を設置した。室内温度を平均するとおよそ18°Cから20°Cであった。室内が暖まってくるころには、常に換気をしているので、室内の温度が20°Cをこえることはほとんどない。今後も室温が上がりすぎないよう適切な温度を保ちながら継続して進めていく。

(3) パソコン、コピー機等のOA機器、その他電気製品について

職場パソコンのモニターの輝度については、意識して取り組んでいなかったので、教職員に輝度を下げるよう周知した。

輝度を下げることで、電力節約だけではなく製品寿命も伸ばせることを意識できるよう教職員に周知していく。

(4) 公用車の使用について

公用車を使用するときは、エアコンの使用を控えていけるよう夏場は窓を開け、冬場は衣服で調整するなどの方法を確認できた。

(5) 紙の使用について

これまで印刷設定が初期状態に戻っているかを確認して印刷を進めていたが、印刷機（コピー機）に「印刷終了後はリセットボタンを押すこと」というラベルシールを貼り付けし、意識共有できるようにした。

(6) 廃棄物について

教職員一人ひとりにチェックシートを配付し、使用済み封筒やファイル等の再利用を行うことを意識して取り組むことができた。

また、保護者に渡す書類も一部繰り返し使える封筒を作成した。

6. 温室効果ガス排出量の削減にむけた取組方針の検討

基準年の平成 25 年度以降の温室効果ガス排出量の推移は図 6-1 に示すように、平成 29 年度から令和元年度にかけて大きく減少している。これは清掃センターの延命化工事に伴う廃棄物発電設備の稼働による電気使用量の削減が大きな効果をもたらしたものである。

一方で、関西電力(株)から供給された電力の排出係数の推移と併せてみると、平成 30 年度以降はその増減がほぼ同じ動きをしていることから、温室効果ガス排出量は電気の排出係数に依存する部分が大きいと見られる。今後、計画目標の達成を確実なものとするためには電気使用量や燃料消費量等の活動量をさらに削減することが必要である。

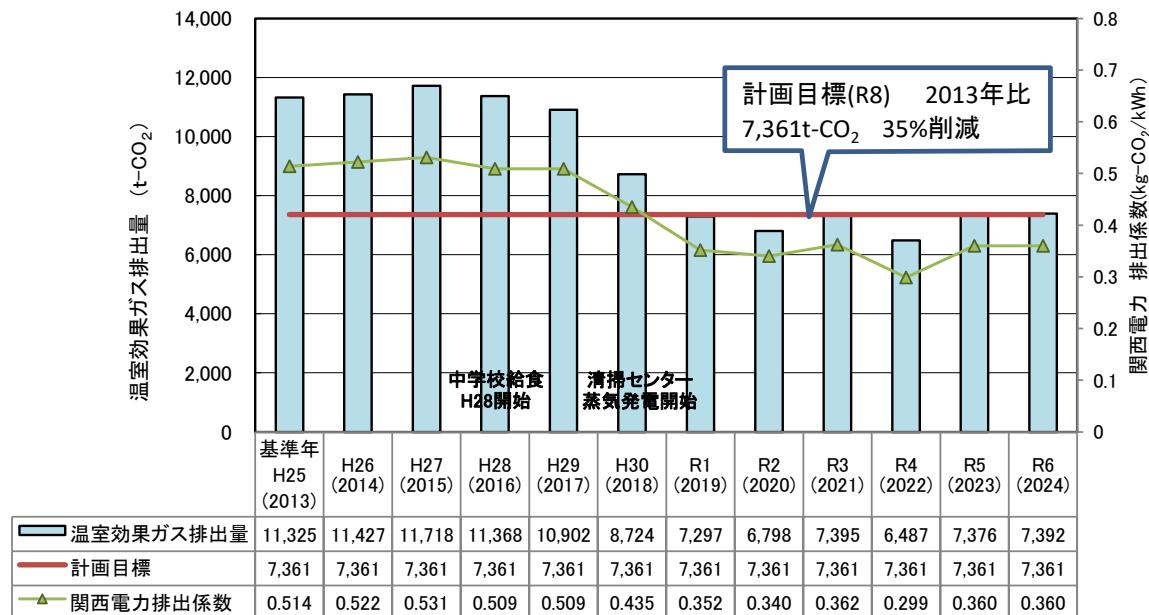


図 6-1 温室効果ガス排出量の推移（一般廃棄物焼却由来を除く）

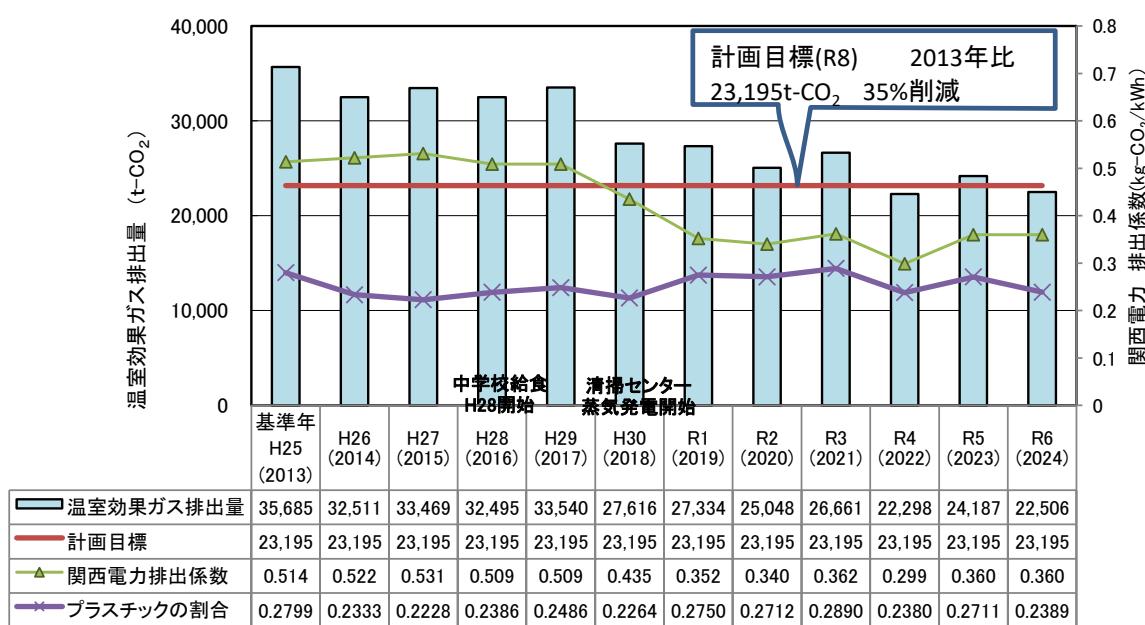


図 6-2 温室効果ガス排出量の推移（一般廃棄物焼却由来を含む）

以下、活動量項目別にみて排出量の割合が大きい電気使用量についての経年変化と削減に向けた取組の案、市全体の排出量に対して割合の大きいプラスチック類焼却について整理する。

6-1. 電気使用量の削減

一般廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス量を除いた項目で、温室効果ガス排出量への寄与が最も大きいのは電気使用量である。排出量の多い上水道関連施設、幼・小・中学校での使用量削減が望まれる。

(1) 事務所などにおける電気使用量

幼・小・中学校をはじめとする事務所系の施設では、夏期と冬期に電気使用量が多いといった季節変動が見られる（図 3-2, p. 13 参照）。これは空調の影響が大きいと考えられる。小・中学校では熱中症対策等として令和 2 年度から教室にエアコンが設置され、令和 6 年度は小・中学校で 2~4 月と 8 月に比較年の最大値を記録した。夏の気温が高かったことが原因として考えられる。小・中学校では換気にも十分配慮しつつ、温室効果ガス排出抑制に配慮した適正な温度設定とするような取組みが望まれるが、アンケート調査では各教室での適切な温度設定は難しいとの意見もあり、方法についての検討が望まれる。

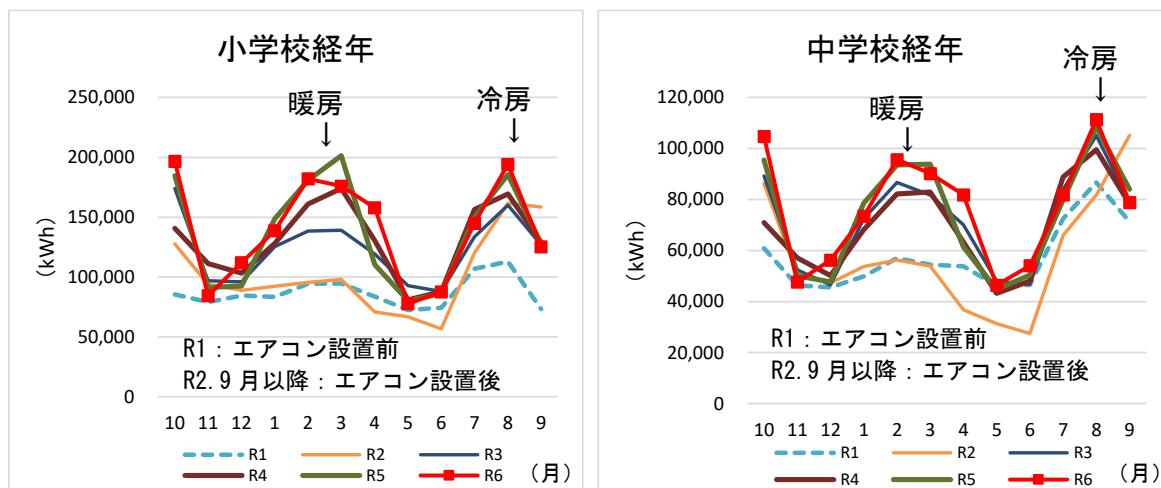


図 6-3 小中学校における電気使用量の月別推移

他施設においても、引き続き冷暖房の際には適正な温度設定と使用時間を遵守する、機器の買い替えの際には省エネ性能に配慮するといった対策を行うことが望ましい。

(2) 事業系施設における電気使用量

上水道施設では地下水の揚水ポンプや浄水処理に使用する電気量が大半を占めている。このように事業系施設では、電気使用量の季節変動があまり見られず（図 3-3, p. 13 参照）、経年化設備の更新など通年の削減対策が効果的である。平成 30 年度以降は清掃センターの設備更新により大幅な削減が見られたが、他施設においても計画書にも記載されているように、施設更新時及び整備時に省エネルギー型の設備・機器の導入を検討することが望まれる。アンケート調査では省エネルギー型の設備・機器の導入に関する検討状況を把握できなかつたため、次年度は事業系施設への調査方法の検討が必要である。

参考に、計画書より電気使用量の削減に関する行動指針の箇所を抜粋した。

■電気使用量の削減に関する行動指針

(1) 照明機器

- ・昼休み時間や時間外勤務時は、業務に支障のない範囲で消灯する。
- ・業務に支障のない範囲で間引き照明を行う。
- ・会議室、更衣室、給湯室等の照明は、使用後必ず消灯する。
- ・トイレ、廊下、階段等は可能な限り自然光を活用する。
- ・購入の際は省電力タイプのものを購入する。
- ・事務室の再配置等により、効率的な照明配置とする。

(2) 空調機器

- ・冷暖房温度は、室温が冷房時28℃、暖房時19℃となることを目安に「クール・ビズ」「ウォーム・ビズ」を徹底する。
- ・会議室等は使用後必ず運転を停止する。
- ・冷暖房効率を上げるため、カーテン、ブラインドを活用する。
- ・フィルター等の清掃をこまめに行う。
- ・窓や出入り口の開放を必要最小限にとどめる。
- ・翌朝の温度上昇を防ぐため、退庁時にはカーテン、ブラインドを開める。

(3) パソコン、コピー機等のOA機器、その他電気製品

- ・購入の際は、適正規模の機器を選択するとともに、エネルギー消費効率の高い製品やインバーター式等の省エネルギー型の製品を購入する。
- ・昼休み、席を離れる時等、使用しないOA機器はこまめに電源を切る。
- ・電気ポット、冷蔵庫、テレビ等の電気製品の台数の削減を図る。
- ・長時間、電気機器を使用しない場合は、プラグを抜き待機電力を削減する。
- ・エレベーターは荷物搬送を除き、極力使用を控える。

出典：「大和郡山市地球温暖化対策推進事業計画書（第四次）」、令和4年、大和郡山市 p. 15 より

6-2. プラスチック類焼却量の削減

プラスチック類の焼却に伴う温室効果ガス排出量は、市の事務・事業における排出量の68.0%を占めている（図4-2、p.17参照）。現状では、これを削減することが市全体の排出量を削減するために最も効果的である。

一般廃棄物中のプラスチック類の割合は表2-4、p.8に示すように年による変動が大きく、約24%～29%で推移している。また、国から示されているプラスチック類の焼却に伴う温室効果ガスの排出係数を見ると、合成繊維は2,290kg-CO₂/t、合成繊維を除くプラスチック類は2,770kg-CO₂/tと非常に大きい値となっている（資料編（4）、p.46参照）。

令和2年12月に策定した「大和郡山市一般廃棄物処理基本計画」においては、ごみ処理の課題として「プラスチック製容器包装の分別収集」を掲げられているが、令和4年4月からは「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、プラスチック製容器包装以外のプラスチック使用製品廃棄物も含め、市区町村による分別収集・再商品化を求められている。同法律では、市区町村はプラスチック使用製品廃棄物の分別基準を定め、同分別基準に従って適正に分別・排出されるように市民に周知するよう努めなければならないことになっている。

現状、熱エネルギーとして利用されているが、今後は、排出抑制に向けた呼びかけを行うとともに、プラスチック使用製品廃棄物の分別収集・再商品化に係る取り組みを検討・実施することになれば、温室効果ガス排出量の削減が期待される。

6－3. その他

温室効果ガス排出量削減のためには、前述した項目以外にも、削減に向けた取組が行われているかどうか、今後点検を行うことが望ましい。

平成 22 年度以降、関西電力以外の特定規模電気事業者からも電力購入が可能となっている。表 2-6, p. 9 に示すように、排出原単位が小さい事業者へと購入先を変更することにより、削減が可能であることがわかる。図 3-4, p. 15 で電気使用量が比較的大きい施設においては、電力供給の安定性や費用面なども考慮しつつ、再生可能エネルギー比率を選定基準に加えるなど排出係数のより小さい事業者から電力を購入することが、有効な対策と考えられる。

参考に計画書の行動指針より、温室効果ガス排出量削減に直接関連のあるものについて列記した。

計画書記載の行動指針（一部抜粋）

■燃料使用量の削減

公用車の燃料

- ・ 購入時には低公害車（電気自動車、ハイブリッド車、天然ガス車、低燃費かつ低排出ガス認定車等）を優先的にする。
- ・ 使用実態を踏まえ、適正な排気量の大きさの車両を購入する。
- ・ 公用車の利用頻度を減らし、自転車または公共交通機関の利用に切り替える。
- ・ 公用車の使用にあたっては、効率的な運行を行い、可能な限り相乗りを励行する。
- ・ エコドライブを徹底する。

その他燃料(灯油・A 重油・ガス等)

- ・ 機器の点検等による効率的な使用を図る。
- ・ ガスコンロや湯沸器は沸かし過ぎの防止、炎の調節など効率的に使用する。
- ・ 石油ストーブ等は、燃焼部分や反射板等の清掃を行い、置き場所を工夫する。

■施設の維持管理について

- ・ 建築物の規模・用途に応じて、太陽光発電等の自然エネルギー、コーチェネレーションシステム、ガス空調等高効率空調、潜熱回収型温水器、エネルギーマネジメントシステムや、夜間電力を利用した蓄熱設備等の導入を検討する。
- ・ 省エネルギーセンター等の省エネ診断の受診を検討する。
- ・ 建築にあたっては、自然採光を活用した設計となるよう配慮する。
- ・ 新築や施設の改修の際には、複層ガラスの採用等による断熱性の向上を図る。
- ・ 新築や施設の改修の際には、防災上の観点も考慮する。

出典：「大和郡山市地球温暖化対策推進事業計画書（第四次）」，令和 4 年，大和郡山市」 p. 16～17 より

＜資料編＞

(1) 活動量データの出典資料（例）	39
• 燃料費・光熱水費・電話料調べ	
• 車両関係調べ	
(2) 温室効果ガス排出量算定のための係数	46
(3) 部署別施設別の状況	42
• 所管施設のない部署	43
会計室／議会事務局／監査委員事務局／農業委員会事務局	
• 総務部	45
• 市民生活部	48
• 福祉部	50
• すこやか健康づくり部	50
• 産業振興部	54
• 都市建設部	57
• 教育委員会	59
• 上下水道部	63

資料-2 燃料費・光熱水費・電話料調

(1) 活動量データの出典資料（例）

課名	区分	(款)			(目)			(事業)			
		電気 使用量 (KW)	水道 金額 (円)	都市ガス 使用量 (円)	重油 金額 (円)	プロパン 使用量 (円)	白灯油 使用量 (円)	金額 (円)	その他 使用量 (円)	金額 (円)	
年月	年月	金額 (円)	金額 (円)	金額 (円)	金額 (円)	金額 (円)	金額 (円)	金額 (円)	金額 (円)	金額 (円)	
6/ 4	0.0	4,150				0.3	2,181	900.0	108,900	74,254	
5	78.0	336,355	165.0	85,332		0.5	2,315	1,800.0	217,800	49,023	
6	36,622.0	887,161					2,516	2,050.0	248,050	46,665	
7	224,022.0	619,469	377.0	182,005		0.9	2,553	3,900.0	471,900	43,302	
8	23,045.0	626,448				0.5	2,315	4,650.0	562,650	57,991	
9	21,467.0	537,149					1.0	2,651	3,800.0	459,800	30,559
小計	103,614.0	3,010,732	542.0	267,337			3.2	14,561	17,100.0	2,069,100	301,794
5/	10	14,738.0	284,519				0.7	2,449	700.0	83,930	45,452
11	16,529.0	302,529	319.0	155,209		0.2	2,114	1,450.0	173,855		49,816
6/ 12	18,346.0	324,010				0.4	2,248	3,300.0	395,670		41,561
1	18,196.0	323,720	136.0	72,987			1,980	4,600.0	551,540		37,451
2	17,482.0	318,848				1.0	2,651	3,650.0	437,635		43,532
3	18,573.0	332,410	141.0	75,115			0.6	2,382	3,900.0	467,610	38,712
小計	103,864.0	1,886,036	596.0	303,311			2.9	13,824	17,600.0	2,110,240	256,524
合計	207,478.0	4,896,768	1,138.0	570,648			6.1	28,385	34,700.0	4,179,340	558,318
6年度 予算		6,635,617		948,251				28,219		3,749,900	563,132

プロパンは単位がm³の場合「×1000/458」でkgに変換している

資料一

車両関係調査

課名		(税)			(税)			(目)			(事業)		
合和5年度(4月~3月迄)		定期点検			調査時現在			合和6年度(4月~9月迄)			7年度 車検の 有・無		
車種	購入年月日	点検年月日	一般点検	修繕費	燃料費(円)	燃料使用量(%)	走行距離	定期点検年月日	一般点検年月日	修繕費	燃料費(円)	燃料使用量(%)	
番号													
軽自動車													
奈180 寸4718	H31/03/07	R6/2/22			62,553			車検			31,469	有	
					368.4	24663km	R06/09/20	車検			184.0	無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	
								車検				有	
								車検				無	

(2) 温室効果ガス排出量算定のための係数

調査項目		単位	対象ガス ^{※1}	排出係数	対象ガス ^{※1}	排出係数	
燃料使用量	ガソリン	L	1	2.32(kg-CO ₂ /L)			
	灯油	L	1	2.49(kg-CO ₂ /L)			
	軽油	L	1	2.58(kg-CO ₂ /L)			
	A重油	L	1	2.71(kg-CO ₂ /L)			
	液化石油ガス(LPG)	kg	1	3.00(kg-CO ₂ /kg)			
	都市ガス	m ³	1	2.05(kg-CO ₂ /m ³)			
電気使用量	事務所で使用した電気量	kWh	1	別表記載 ^{※2}			
	事業系施設で使用した電気量 (ごみ焼却場,最終処分場,し尿処理場,ポンプ場,水道局,街灯など)	kWh	1	別表記載 ^{※2}			
自動車の走行量	ガソリン・LPG	普通・小型乗用車(定員10名以下)	km	2	0.000010(kg-CH ₄ /km)	3	0.000029(kg-N ₂ O/km)
		軽乗用車	km	2	0.000010(kg-CH ₄ /km)	3	0.000022(kg-N ₂ O/km)
		小型貨物車	km	2	0.000015(kg-CH ₄ /km)	3	0.000026(kg-N ₂ O/km)
		軽貨物車	km	2	0.000011(kg-CH ₄ /km)	3	0.000022(kg-N ₂ O/km)
		特殊用途車	km	2	0.000035(kg-CH ₄ /km)	3	0.000035(kg-N ₂ O/km)
	軽油	普通貨物車	km	2	0.000015(kg-CH ₄ /km)	3	0.000014(kg-N ₂ O/km)
		小型貨物車	km	2	0.0000076(kg-CH ₄ /km)	3	0.000009(kg-N ₂ O/km)
		特殊用途車	km	2	0.000013(kg-CH ₄ /km)	3	0.000025(kg-N ₂ O/km)
	CNG車	特殊用途車 ^{※3}	km	2	0.000105(kg-CH ₄ /km)	3	0.0000145(kg-N ₂ O/km)
	一般廃棄物焼却量	一般廃棄物焼却量全体	t	2	0.00095(kg-CH ₄ /t)	3	0.0567(kg-N ₂ O/t)
一般廃棄物焼却量	合成繊維由来プラスチック類	t	1	2,290(kg-CO ₂ /t)			
	合成繊維除くプラスチック類	t	1	2,770(kg-CO ₂ /t)			

参考:「地方公共団体実行計画(事務事業編)策定・実施マニュアル(算定手法編)」

(令和6年4月、環境省)より、本市事務・事業に該当する項目のみ

※1:「対象ガス」の種類は下表(■地球温暖化係数)による。

※2:電気使用による二酸化炭素排出係数は電気事業者ごとの実績値によって毎年変動する。本調査で使用している排出係数は下表(■電気事業者別CO₂排出係数(公表値))による。

※3:CNG車の走行量による二酸化炭素排出係数は上記マニュアルが改訂されたため、令和3年度集計より変更している(詳細は資料編(10),p.76に記載)。

※4:都市ガスの使用による二酸化炭素排出係数は上記マニュアルが改訂されたため、令和6年度集計より変更している。

■ 地球温暖化係数

	温室効果ガス	地球温暖化係数
1	二酸化炭素(CO ₂)	1
2	メタン(CH ₄)	28
3	一酸化二窒素(N ₂ O)	265

参考:「地方公共団体実行計画(事務事業編)策定・実施マニュアル(算定手法編)」(令和6年4月、環境省)

■ 電気事業者別排出係数(公表値) (kg-CO₂/kWh)

	H25年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度※
関西電力	0.522	0.362	0.299	0.360	0.360	0.360
エネット	0.423	—	—	—	—	0.405
サミットエナジー	0.492	—	—	—	—	0.418
ミツウロコ	0.375	—	—	—	—	0.352
エネサーブ	—	0.347	—	—	—	0.258

※令和5および6年度値は未公表のため本調査において令和5、6年度(4~9月)の算定には令和4年度値を採用。

※令和6年度の関西電力以外の排出係数は、本調査では使用していないが参考値として掲載。

(3) 部署別施設別の状況

- 所管施設のない部署
会計室／議会事務局／監査委員事務局／農業委員会事務局
- 総務部
- 市民生活部
- 福祉部
- すこやか健康づくり部
- 産業振興部
- 都市建設部
- 教育委員会
- 上下水道部

所管施設のない部署

◆温室効果ガス排出量

kg-CO₂/年

	会計室	議会事務局	監査委員 事務局	農業委員会 事務局	部署合計
H25	379,226	1,321	0	0	380,547
R2	222,742	340	0	0	223,082
R3	253,177	119	0	0	253,296
R4	247,258	174	0	0	247,432
R5	321,023	393	0	0	321,416
R6	359,882	395	0	0	360,277

◆電気使用量

kWh/年

	会計室	議会事務局	監査委員 事務局	農業委員会 事務局	部署合計
H25	866,964	0	0	0	866,964
R2	626,676	0	0	0	626,676
R3	709,098	0	0	0	709,098
R4	799,871	0	0	0	799,871
R5	874,138	0	0	0	874,138
R6	984,709	0	0	0	984,709

◆燃料使用量

L/年+kg/年+m³/年

	会計室	議会事務局	監査委員 事務局	農業委員会 事務局	部署合計
H25	23,816	558	0	0	24,374
R2	1,333	144	0	0	1,477
R3	1,453	50	0	0	1,503
R4	3,617	72	0	0	3,689
R5	2,932	162	0	0	3,094
R6	2,628	167	0	0	2,795

◆自動車の走行量

km/年

	会計室	議会事務局	監査委員 事務局	農業委員会 事務局	部署合計
H25	0	3,258	0	0	3,258
R2	0	666	0	0	666
R3	0	335	0	0	335
R4	0	853	0	0	853
R5	0	1,926	0	0	1,926
R6	0	1,039	0	0	1,039

◆水道水の使用量

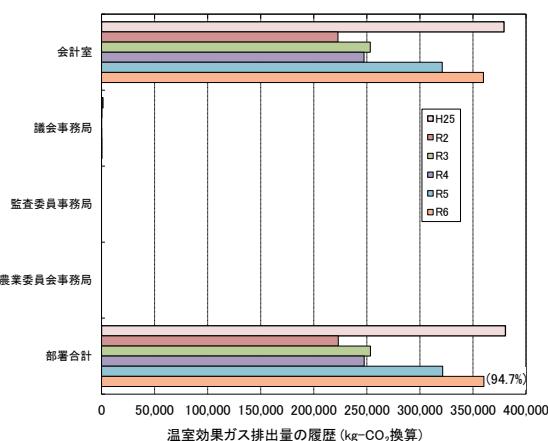
m³/年

	会計室	議会事務局	監査委員 事務局	農業委員会 事務局	部署合計
H25	6,412	0	0	0	6,412
R2	4,971	0	0	0	4,971
R3	4,206	0	0	0	4,206
R4	4,067	0	0	0	4,067
R5	3,966	0	0	0	3,966
R6	6,566	0	0	0	6,566

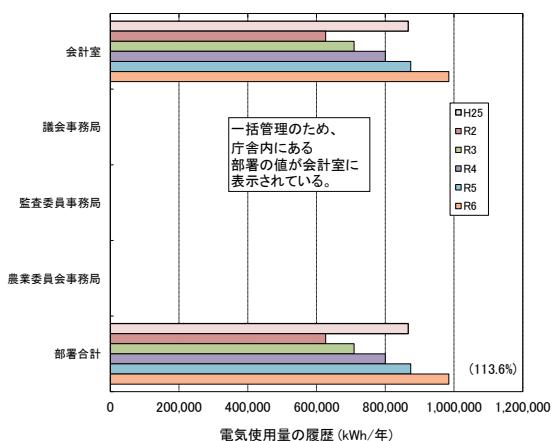
※会計室は本庁舎の電気使用量を一括管理しているため、本庁舎での電気使用量は全量が同室に計上されている。

注) 部署ごとに四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合がある。

所管施設のない部署

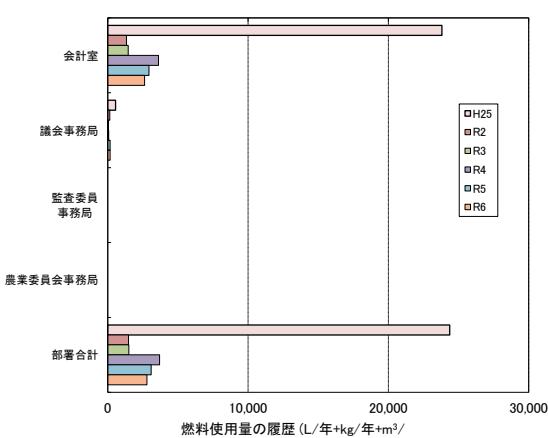


所管施設のない部署

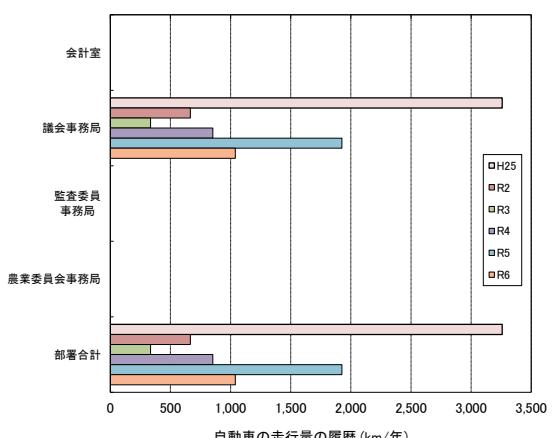


※一括管理のため、庁舎にある課の電気は会計室に計上している。

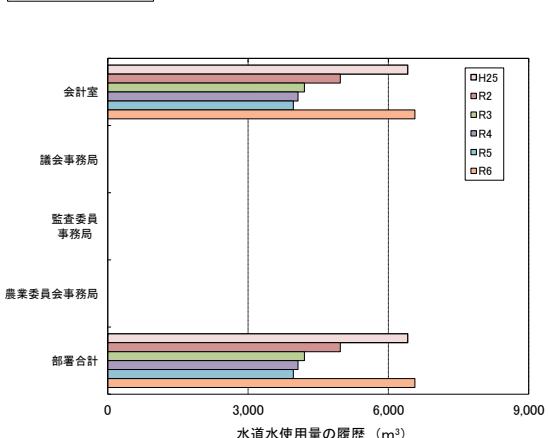
所管施設のない部署



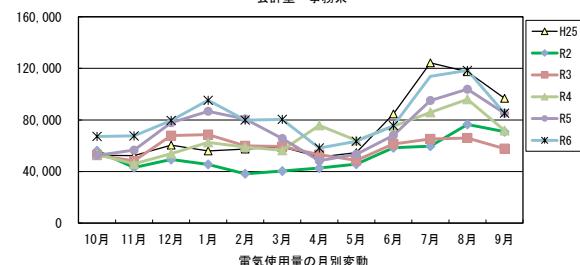
所管施設のない部署



所管施設のない部署



会計室 事務系



総務部

◆温室効果ガス排出量

kg-CO₂/年

	企画政策課	人事課	秘書課	公園街路灯等	本庁舎車両	旧矢田幼稚園	矢田コミュニティ会館
H25	0	0	5,599	242	66,866	集計対象外	19,186
R2	0	0	2,254	187	46,315	187	14,686
R3	0	0	1,462	0	45,254	244	16,322
R4	0	0	1,693	0	47,899	147	16,609
R5	0	0	1,893	0	44,600	0	16,254
R6	0	0	2,358	0	62,815	0	15,974

◆電気使用量

kWh/年

	企画政策課	人事課	秘書課	公園街路灯等	本庁舎車両	旧矢田幼稚園	矢田コミュニティ会館
H25	0	0	0	470	0	集計対象外	22,286
R2	0	0	0	0	0	549	21,523
R3	0	0	0	0	0	674	21,950
R4	0	0	0	0	0	493	22,884
R5	0	0	0	0	0	0	22,373
R6	0	0	0	0	0	0	21,257

◆燃料使用量

L/年+kg/年+m³/年

	企画政策課	人事課	秘書課	公園街路灯等	本庁舎車両	旧矢田幼稚園	矢田コミュニティ会館
H25	0	0	2,357	0	27,915	集計対象外	3,579
R2	0	0	933	0	19,405	0	3,411
R3	0	0	606	0	18,978	0	3,878
R4	0	0	702	0	20,077	0	4,499
R5	0	0	782	0	18,664	0	3,778
R6	0	0	974	0	25,799	0	4,038

◆自動車の走行量

km/年

	企画政策課	人事課	秘書課	公園街路灯等	本庁舎車両	旧矢田幼稚園	矢田コミュニティ会館
H25	0	0	16,413	0	284,429	集計対象外	0
R2	0	0	11,228	0	209,079	0	0
R3	0	0	7,015	0	197,608	0	0
R4	0	0	8,142	0	210,652	0	2,511
R5	0	0	9,950	0	207,889	0	1,172
R6	0	0	12,425	0	221,030	0	2,105

◆水道水の使用量

m³/年

	企画政策課	人事課	秘書課	公園街路灯等	本庁舎車両	旧矢田幼稚園	矢田コミュニティ会館
H25	0	0	0	0	0	集計対象外	189
R2	0	0	0	0	0	0	190
R3	0	0	0	0	0	0	179
R4	0	0	0	0	0	0	180
R5	0	0	0	0	0	0	183
R6	0	0	0	0	0	0	181

※公園街路灯等の電気使用量は令和元年度集計データより施設廃止のため0となった。

※総務課では本庁舎の車両を一括管理している。

注) 部署ごとに四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合がある。

総務部(続き)

◆温室効果ガス排出量

kg-CO₂/年

	交通防犯 対策課	自転車等 保管施設	災害対策課	消防団詰め所 および納庫	財政課	税務課	部署合計
H25	373	1,220	0	9,199	0	0	102,685
R2	457	656	0	5,960	0	0	70,702
R3	480	703	0	7,020	0	0	71,485
R4	563	646	0	5,925	0	0	73,482
R5	383	851	0	8,267	0	0	72,248
R6	460	833	0	7,272	0	0	89,712

◆電気使用量

kWh/年

	交通防犯 対策課	自転車等 保管施設	災害対策課	消防団詰め所 および納庫	財政課	税務課	部署合計
H25	0	2,374	0	16,744	0	0	41,874
R2	0	1,929	0	17,398	0	0	41,399
R3	0	1,941	0	18,030	0	0	42,595
R4	0	2,161	0	19,382	0	0	44,920
R5	0	2,365	0	21,275	0	0	46,013
R6	0	2,313	0	19,257	0	0	42,827

◆燃料使用量

L/年+kg/年+m³/年

	交通防犯 対策課	自転車等 保管施設	災害対策課	消防団詰め所 および納庫	財政課	税務課	部署合計
H25	155	0	0	238	0	0	34,244
R2	194	0	0	18	0	0	23,961
R3	202	0	0	198	0	0	23,862
R4	236	0	0	52	0	0	25,566
R5	161	0	0	244	0	0	23,629
R6	193	0	0	136	0	0	31,140

◆自動車の走行量

km/年

	交通防犯 対策課	自転車等 保管施設	災害対策課	消防団詰め所 および納庫	財政課	税務課	部署合計
H25	1,636	0	0	0	0	0	302,478
R2	1,220	0	0	0	0	0	221,527
R3	1,852	0	0	0	0	0	206,475
R4	2,173	0	0	0	0	0	223,478
R5	1,481	0	0	0	0	0	220,492
R6	1,926	0	0	0	0	0	237,486

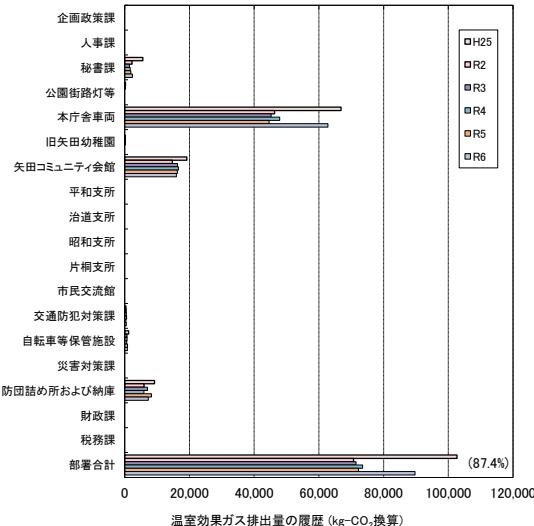
◆水道水の使用量

m³/年

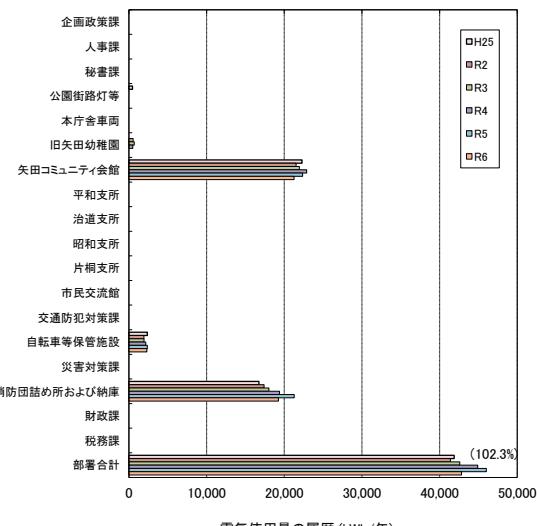
	交通防犯 対策課	自転車等 保管施設	災害対策課	消防団詰め所 および納庫	財政課	税務課	部署合計
H25	0	28	0	25	0	0	242
R2	0	23	0	34	0	0	247
R3	0	24	0	16	0	0	219
R4	0	20	0	27	0	0	227
R5	0	21	0	30	0	0	234
R6	0	20	0	29	0	0	230

注) 部署ごとに四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合がある。

総務部

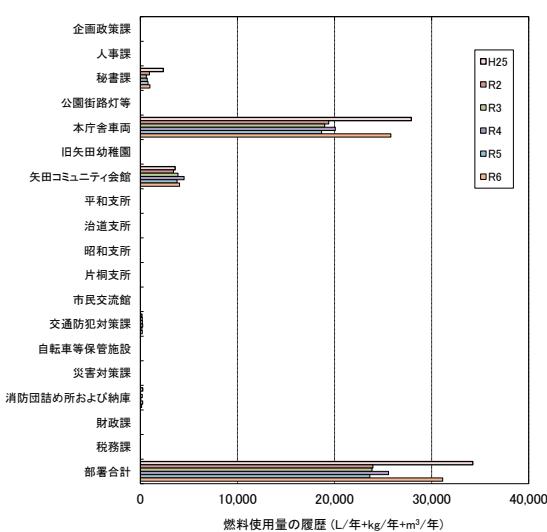


総務部

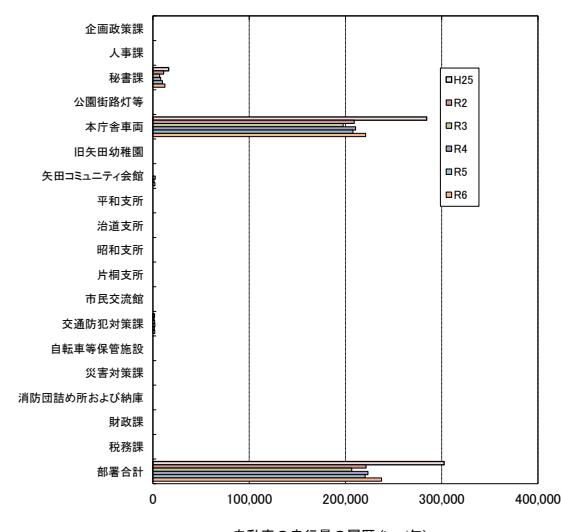


※一括管理のため、庁舎にある課の電気は会計室に計上している。

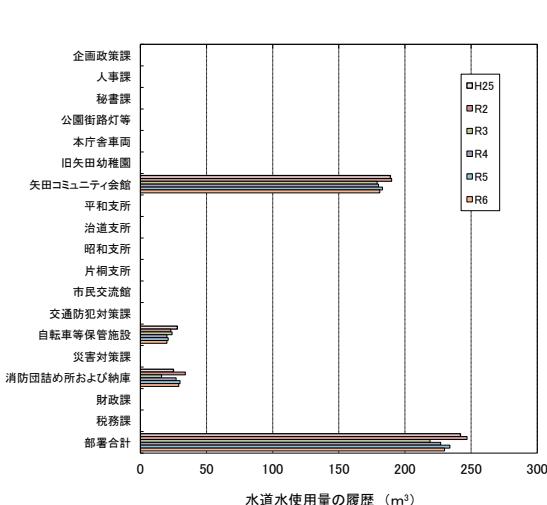
総務部



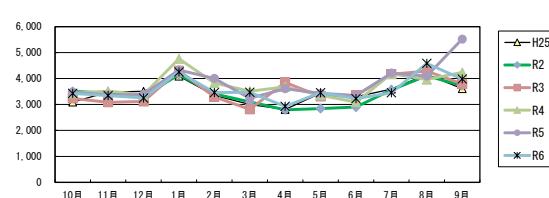
総務部



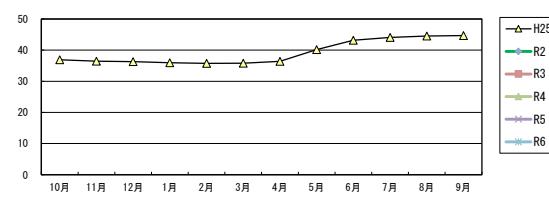
総務部



総務部 事務系



総務部 事業系



市民生活部

◆温室効果ガス排出量

kg-CO₂/年

	市民課	保険年金 課	人権施策 推進課	西田中町 B地区住 環境整備 工事事務 所	西田中町 ふれあい センター	新町ふれ あいセン ター	西田中町 老人憩の 家	新町南老 人憩の家	部署合計
H25	0	0	0	8,595	34,313	6,705	0	222	49,835
R2	0	0	0	0	22,824	6,051	664	37	29,576
R3	0	0	0	0	22,214	6,205	655	35	29,109
R4	0	0	0	0	20,289	5,293	527	49	26,158
R5	0	0	0	0	20,368	5,851	633	23	26,875
R6	0	0	0	0	19,253	5,422	687	22	25,384

◆電気使用量

kWh/年

	市民課	保険年金 課	人権施策 推進課	西田中町 B地区住 環境整備 工事事務 所	西田中町 ふれあい センター	新町ふれ あいセン ター	西田中町 老人憩の 家	新町南老 人憩の家	部署合計
H25	0	0	0	10,080	70,678	8,421	0	432	89,611
R2	0	0	0	0	51,996	7,675	1,952	108	61,731
R3	0	0	0	0	50,164	7,488	1,809	96	59,557
R4	0	0	0	0	52,995	5,797	1,763	165	60,720
R5	0	0	0	0	43,703	5,172	1,758	64	50,697
R6	0	0	0	0	47,548	5,023	1,908	62	54,541

◆燃料使用量

L/年+kg/年+m³/年

	市民課	保険年金 課	人権施策 推進課	西田中町 B地区住 環境整備 工事事務 所	西田中町 ふれあい センター	新町ふれ あいセン ター	西田中町 老人憩の 家	新町南老 人憩の家	部署合計
H25	0	0	0	1,610	1,375	970	0	0	3,954
R2	0	0	0	0	1,857	1,395	0	0	3,252
R3	0	0	0	0	1,824	1,413	0	0	3,237
R4	0	0	0	0	1,788	1,433	0	0	3,222
R5	0	0	0	0	1,876	1,612	0	0	3,488
R6	0	0	0	0	878	1,462	0	0	2,340

◆自動車の走行量

km/年

	市民課	保険年金 課	人権施策 推進課	西田中町 B地区住 環境整備 工事事務 所	西田中町 ふれあい センター	新町ふれ あいセン ター	西田中町 老人憩の 家	新町南老 人憩の家	部署合計
H25	0	0	0	10,917	9,443	6,185	0	0	26,545
R2	0	0	0	0	7,073	3,559	0	0	10,632
R3	0	0	0	0	9,573	2,805	0	0	12,378
R4	0	0	0	0	18,555	5,000	0	0	23,554
R5	0	0	0	0	13,470	4,467	0	0	17,936
R6	0	0	0	0	8,698	5,013	0	0	13,711

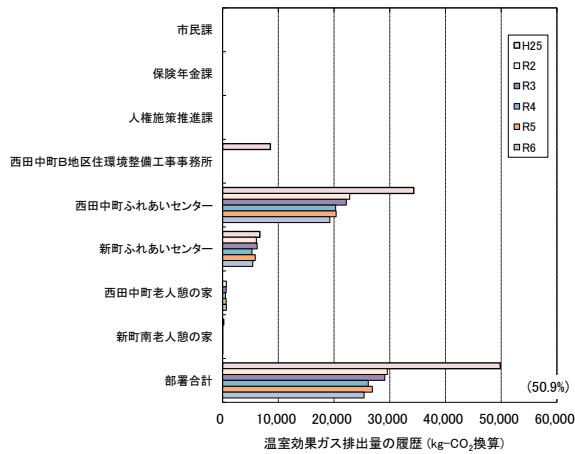
◆水道水の使用量

m³/年

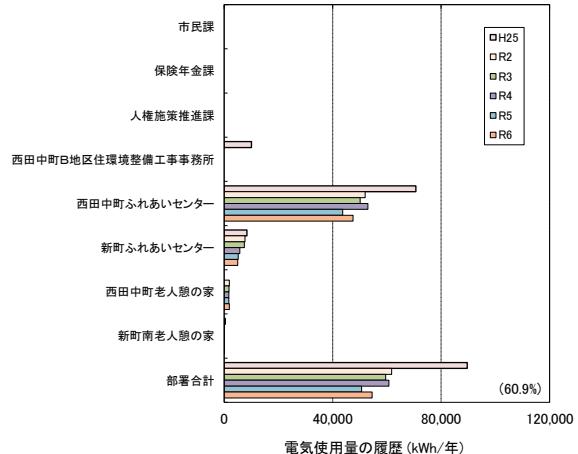
	市民課	保険年金 課	人権施策 推進課	西田中町 B地区住 環境整備 工事事務 所	西田中町 ふれあい センター	新町ふれ あいセン ター	西田中町 老人憩の 家	新町南老 人憩の家	部署合計
H25	0	0	0	80	278	77	1	2	438
R2	0	0	0	0	169	38	13	1	221
R3	0	0	0	0	149	44	17	1	211
R4	0	0	0	0	196	42	13	1	252
R5	0	0	0	0	162	58	15	2	237
R6	0	0	0	0	176	30	5	0	211

注) 部署ごとに四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合がある。

市民生活部

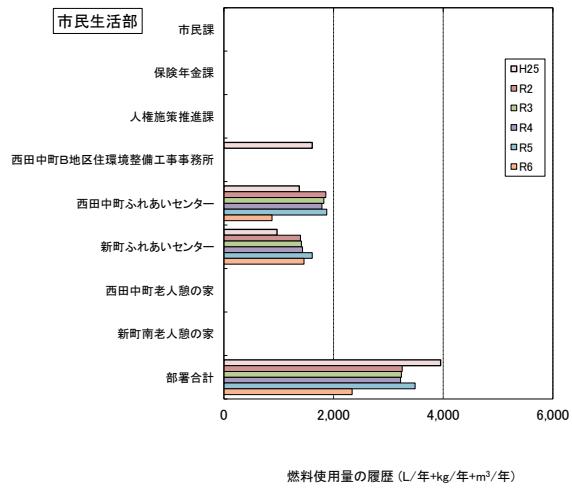


市民生活部

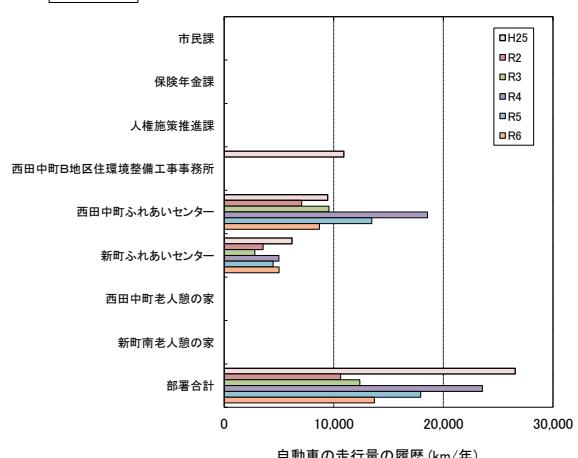


※一括管理のため、庁舎にある課の電気は会計室に計上している。

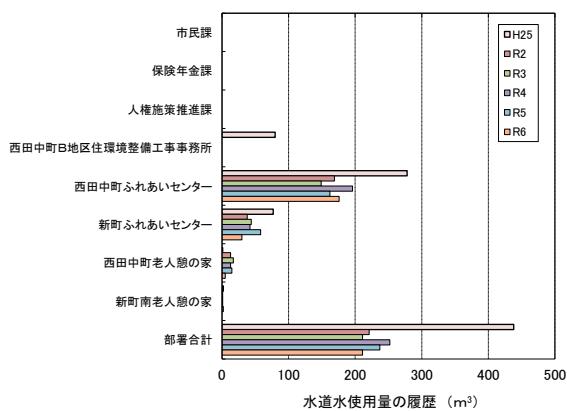
市民生活部



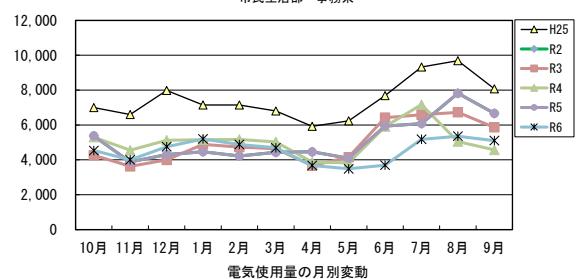
市民生活部



市民生活部



市民生活部 事務系



福祉部

該当課により発生する温室効果ガスは計上されていない。

すこやか健康づくり部

◆温室効果ガス排出量

kg-CO₂/年

	たんとん郡高 広場	新町児童館	南井町児童 館	放課後児童ク ラブサポートセ ンター	旧平和保育 園	小泉保育園	西田中保育 園	池之内保育 園
H25	1,120	8,481	14,496	—	—	42,208	39,091	30,390
R2	292	4,401	5,897	—	—	25,902	31,188	21,529
R3	481	4,656	5,628	—	—	25,785	31,584	22,763
R4	409	3,893	6,346	—	—	23,172	30,009	21,360
R5	—	5,290	7,679	14,257	1,053	25,057	35,577	24,088
R6	—	6,841	9,722	9,971	9,304	28,361	39,892	24,459

◆電気使用量

kWh/年

	たんとん郡高 広場	新町児童館	南井町児童 館	放課後児童ク ラブサポートセ ンター	旧平和保育 園	小泉保育園	西田中保育 園	池之内保育 園
H25	1,737	14,972	27,436	—	—	80,980	69,969	48,459
R2	727	11,956	16,319	—	—	60,458	72,523	45,638
R3	1,328	11,950	14,921	—	—	56,540	67,951	46,175
R4	1,369	11,701	20,519	—	—	57,950	77,955	50,495
R5	—	13,678	21,129	38,881	2,926	54,721	78,860	49,373
R6	—	18,097	26,397	26,933	25,844	65,922	90,024	50,202

◆燃料使用量

L/年+kg/年+m³/年

	たんとん郡高 広場	新町児童館	南井町児童 館	放課後児童ク ラブサポートセ ンター	旧平和保育 園	小泉保育園	西田中保育 園	池之内保育 園
H25	91	328	165	—	—	3,120	2,833	1,827
R2	18	144	146	—	—	2,178	1,931	2,004
R3	0	140	95	—	—	2,704	2,119	1,810
R4	0	166	89	—	—	2,706	2,252	2,087
R5	—	152	30	104	0	2,480	2,429	2,105
R6	—	136	92	110	0	2,258	2,541	2,129

◆自動車の走行量

km/年

	たんとん郡高 広場	新町児童館	南井町児童 館	放課後児童ク ラブサポートセ ンター	旧平和保育 園	小泉保育園	西田中保育 園	池之内保育 園
H25	0	3,433	1,574	—	—	0	0	0
R2	0	1,431	1,459	—	—	0	0	0
R3	0	1,835	954	—	—	0	0	0
R4	0	2,378	886	—	—	0	0	0
R5	—	2,498	304	1,485	0	0	0	0
R6	—	1,722	1,099	3,104	0	0	0	0

◆水道水の使用量

m³/年

	たんとん郡高 広場	新町児童館	南井町児童 館	放課後児童ク ラブサポートセ ンター	旧平和保育 園	小泉保育園	西田中保育 園	池之内保育 園
H25	0	80	132	—	—	2,324	2,958	1,623
R2	0	60	72	—	—	2,338	2,082	1,529
R3	0	72	78	—	—	2,332	2,123	1,324
R4	0	83	88	—	—	2,649	2,298	1,280
R5	—	94	87	159	20	2,659	2,156	1,327
R6	—	99	86	134	658	2,359	2,279	1,407

注) 部署ごとに四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合がある。

すこやか健康づくり部（続き）

◆温室効果ガス排出量

kg-CO₂/年

	郡山保育園	矢田山保育園	新町保育園	平和認定こども園	治道認定こども園	矢田認定こども園	保健センター	部署合計
H25	32,171	31,686	14,825	38,263	教育委員会幼稚園で集計	164,309	417,040	
R2	22,099	663	10,751	28,067	20,447	37,540	152,852	361,628
R3	23,857	0	9,645	36,043	22,541	40,945	165,396	389,324
R4	22,095	0	7,830	40,558	22,312	38,484	168,259	384,727
R5	23,700	0	5,396	41,211	25,418	44,428	168,306	421,460
R6	24,027	0	2,860	40,680	16,446	43,468	163,149	419,180

◆電気使用量

kWh/年

	郡山保育園	矢田山保育園	新町保育園	平和認定こども園	治道認定こども園	矢田認定こども園	保健センター	部署合計
H25	52,552	34,885	24,025	74,131	教育委員会幼稚園で集計	201,942	718,931	
R2	51,064	0	22,726	63,081	40,244	86,238	180,280	713,042
R3	52,635	0	19,377	82,137	41,455	88,537	209,431	802,640
R4	59,240	0	18,542	104,925	48,428	98,369	224,452	947,830
R5	53,297	0	11,659	88,921	48,949	97,337	226,739	883,741
R6	53,113	0	4,614	89,553	32,768	95,096	207,478	786,041

◆燃料使用量

L/年+kg/年+m³/年

	郡山保育園	矢田山保育園	新町保育園	平和認定こども園	治道認定こども園	矢田認定こども園	保健センター	部署合計
H25	1,720	6,362	825	1,931	教育委員会幼稚園で集計	29,338	49,474	
R2	1,579	0	1,008	1,966	2,292	3,805	36,093	53,654
R3	1,438	0	788	2,088	2,297	4,118	36,718	54,856
R4	1,461	0	762	3,062	2,681	4,200	40,648	60,739
R5	1,504	0	400	3,066	2,654	4,346	34,840	54,449
R6	1,635	0	400	2,814	1,569	4,504	35,559	53,747

◆自動車の走行量

km/年

	郡山保育園	矢田山保育園	新町保育園	平和認定こども園	治道認定こども園	矢田認定こども園	保健センター	部署合計
H25	0	0	0	0	教育委員会幼稚園で集計	10,710	23,740	
R2	0	0	0	0	0	0	10,157	19,100
R3	0	0	0	0	0	0	7,905	18,245
R4	0	0	0	0	0	0	8,388	21,864
R5	0	0	0	0	0	0	7,797	18,009
R6	0	0	0	0	0	0	8,417	14,342

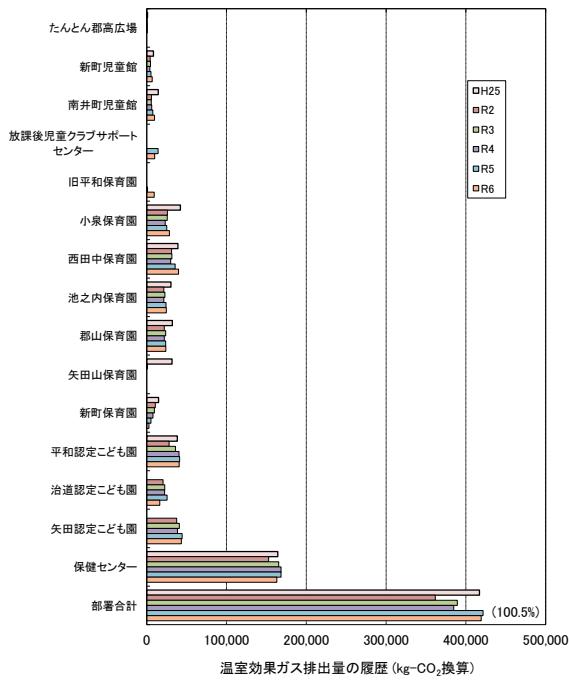
◆水道水の使用量

m³/年

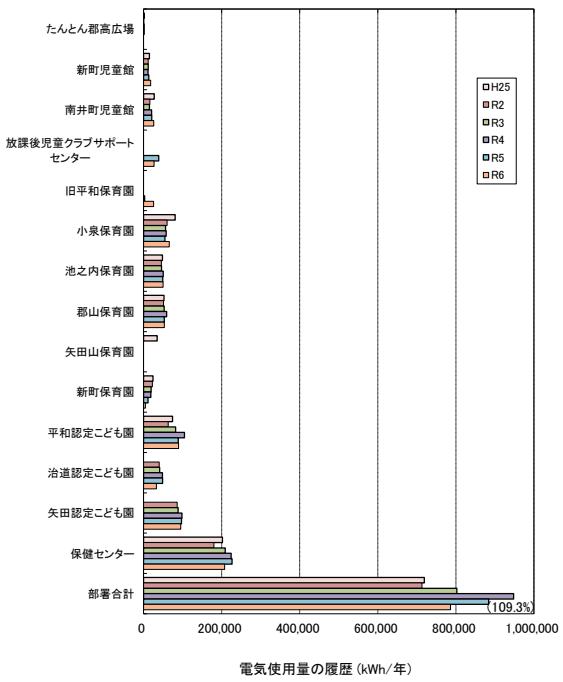
	郡山保育園	矢田山保育園	新町保育園	平和認定こども園	治道認定こども園	矢田認定こども園	保健センター	部署合計
H25	2,155	1,806	655	2,351	教育委員会幼稚園で集計	1,914	16,427	
R2	1,613	0	647	3,542	2,554	1,809	1,659	18,226
R3	1,582	0	584	1,993	2,634	2,022	1,852	17,127
R4	1,655	0	583	1,764	2,944	2,088	1,961	18,730
R5	1,657	0	242	1,799	3,748	2,144	1,951	19,020
R6	1,504	0	242	1,691	829	2,202	1,138	14,628

注) 部署ごとに四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合がある。

すこやか健康づくり部

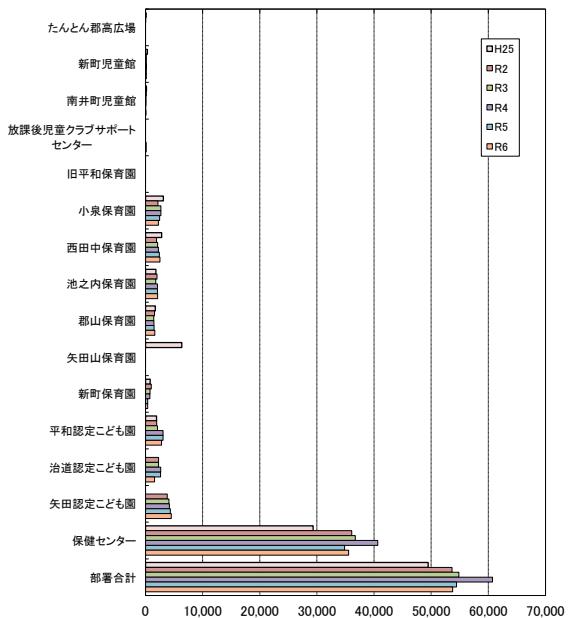


すこやか健康づくり部

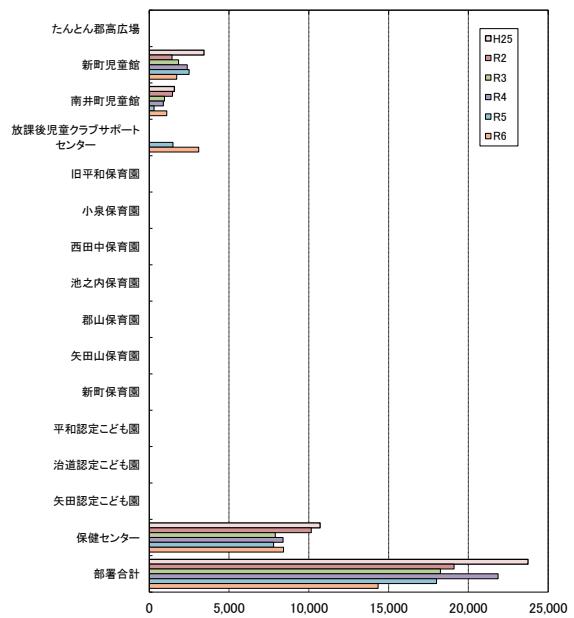


※一括管理のため、庁舎にある課の電気は会計室に計上している。

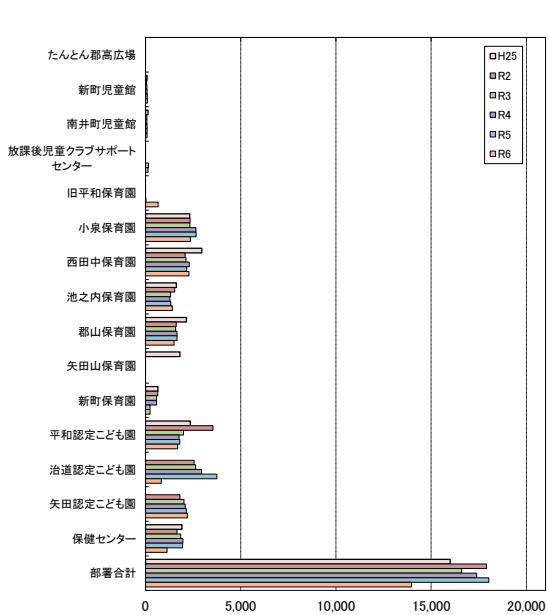
すこやか健康づくり部



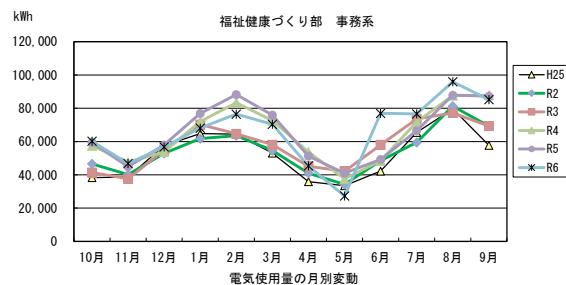
すこやか健康づくり部



すこやか健康づくり部



水道水使用量の履歴 (m^3)



産業振興部

◆温室効果ガス排出量

kg-CO₂/年

	的場古池公園深井戸	昭和工業団地等深井戸	元気城下町 プラザ等	バスパーク 等	西田中グラ ウンド	清浄会館
H25	87,413	51,526	8,204	3,903	0	228,588
R2	24,825	14,033	8,379	4,394	0	244,478
R3	24,840	11,497	9,444	5,174	0	241,849
R4	27,137	12,241	7,907	4,352	0	257,891
R5	63,046	16,822	8,906	4,891	0	242,093
R6	32,441	16,209	8,802	4,741	0	249,553

◆電気使用量

kWh/年

	的場古池公園深井戸	昭和工業団地等深井戸	元気城下町 プラザ	バスパーク 等	西田中グラ ウンド	清浄会館
H25	170,065	100,245	15,961	7,593	0	80,558
R2	73,015	41,273	24,644	12,923	0	58,172
R3	68,620	31,759	26,087	14,293	0	55,465
R4	90,760	40,939	26,444	14,555	0	69,061
R5	175,129	46,729	24,740	13,587	0	70,274
R6	90,113	45,025	24,451	13,170	0	71,591

◆燃料使用量

L/年+kg/年+m³/年

	的場古池公園深井戸	昭和工業団地等深井戸	元気城下町 プラザ	バスパーク 等	西田中グラ ウンド	清浄会館
H25	0	0	0	0	0	75,152
R2	0	0	0	0	0	90,234
R3	0	0	0	0	0	89,062
R4	0	0	0	0	0	95,274
R5	0	0	0	0	0	87,063
R6	0	0	0	0	0	89,868

◆自動車の走行量

km/年

	的場古池公園深井戸	昭和工業団地等深井戸	元気城下町 プラザ	バスパーク 等	西田中グラ ウンド	清浄会館
H25	0	0	0	0	0	0
R2	0	0	0	0	0	0
R3	0	0	0	0	0	0
R4	0	0	0	0	0	0
R5	0	0	0	0	0	0
R6	0	0	0	0	0	0

◆水道水の使用量

m³/年

	的場古池公園深井戸	昭和工業団地等深井戸	元気城下町 プラザ	バスパーク 等	西田中グラ ウンド	清浄会館
H25	0	0	15	388	19	483
R2	0	0	49	396	10	343
R3	0	0	60	388	203	234
R4	0	0	46	400	12	221
R5	0	0	41	423	11	192
R6	0	0	55	417	3	230

注) 部署ごとに四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合がある。

産業振興部(続き)

◆温室効果ガス排出量

kg-CO₂/年

	公園墓地	清掃センター	山田町最終処分場	衛生センター	矢田山処分場	部署合計
H25	2,090	28,029,254	32,326	488,157	28,213	28,959,674
R2	1,402	19,485,357	14,464	343,396	0	20,140,728
R3	1,584	20,661,822	19,534	379,255	0	21,354,999
R4	1,350	16,992,804	12,838	328,919	0	17,645,439
R5	1,609	18,186,045	15,624	348,733	0	18,887,769
R6	1,486	16,477,700	15,080	352,951	0	17,158,963

◆電気使用量

kWh/年

	公園墓地	清掃センター	山田町最終処分場	衛生センター	矢田山処分場	部署合計
H25	4,066	6,633,265	62,892	654,566	53,687	7,782,898
R2	4,124	3,157,642	42,542	565,709	0	3,980,044
R3	4,377	3,373,676	53,960	562,587	0	4,190,824
R4	4,515	3,390,385	42,938	551,969	0	4,231,566
R5	4,469	3,306,885	43,401	550,726	0	4,235,940
R6	4,129	3,306,426	41,890	572,150	0	4,168,945

◆燃料使用量

L/年+kg/年+m³/年

	公園墓地	清掃センター	山田町最終処分場	衛生センター	矢田山処分場	部署合計
H25	0	103,763	0	55,527	286	234,728
R2	0	64,483	0	55,293	0	210,010
R3	0	69,412	0	64,224	0	222,698
R4	0	65,322	0	59,997	0	220,593
R5	0	72,197	0	55,054	0	214,314
R6	0	68,183	0	53,716	0	211,767

◆自動車の走行量

km/年

	公園墓地	清掃センター	山田町最終処分場	衛生センター	矢田山処分場	部署合計
H25	0	350,455	0	40,660	0	391,115
R2	0	157,851	0	47,964	0	205,815
R3	0	156,237	0	21,301	0	177,538
R4	0	148,306	0	32,773	0	181,079
R5	0	151,532	0	26,490	0	178,022
R6	0	139,726	0	27,426	0	167,152

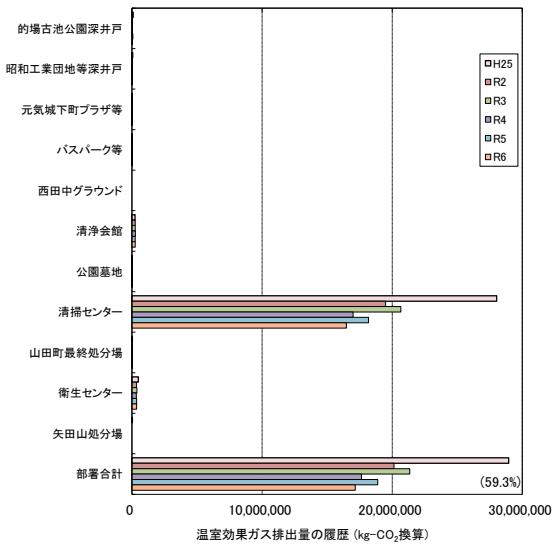
◆水道水の使用量

m³/年

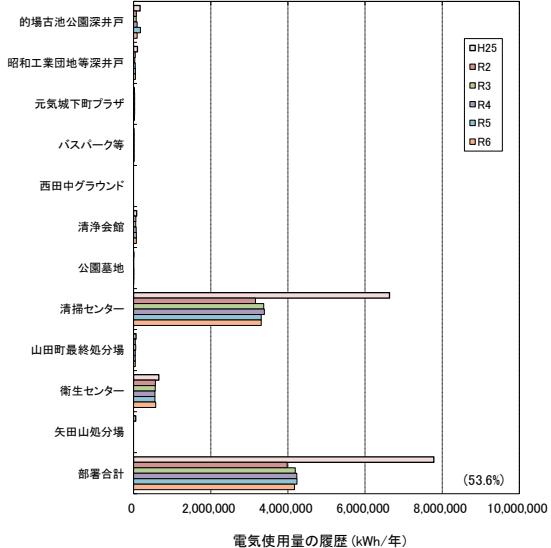
	公園墓地	清掃センター	山田町最終処分場	衛生センター	矢田山処分場	部署合計
H25	294	10,496	118	5,463	132	17,408
R2	198	11,418	36	3,687	0	16,137
R3	176	10,937	77	3,405	0	15,480
R4	163	10,399	17	3,252	0	14,510
R5	166	11,085	16	3,114	0	15,048
R6	169	10,586	63	3,407	0	14,930

注) 部署ごとに四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合がある。

産業振興部

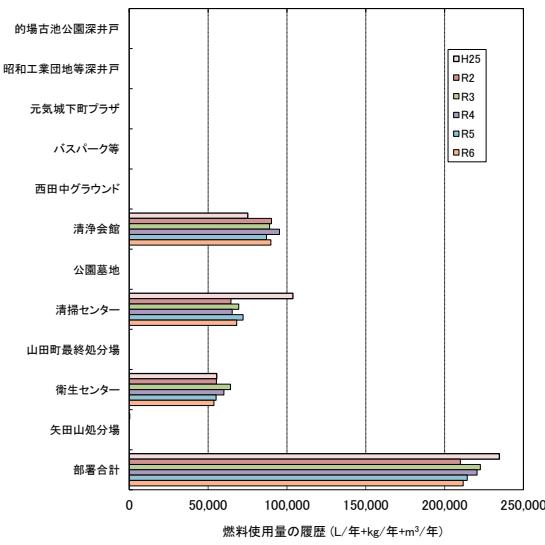


産業振興部

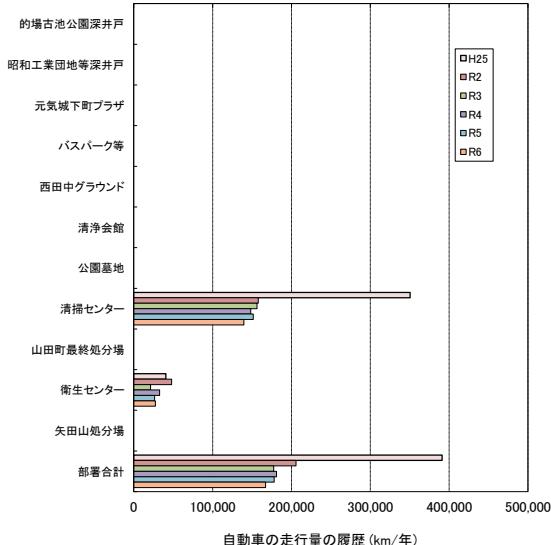


※一括管理のため、庁舎にある課の電気は会計室に計上している。

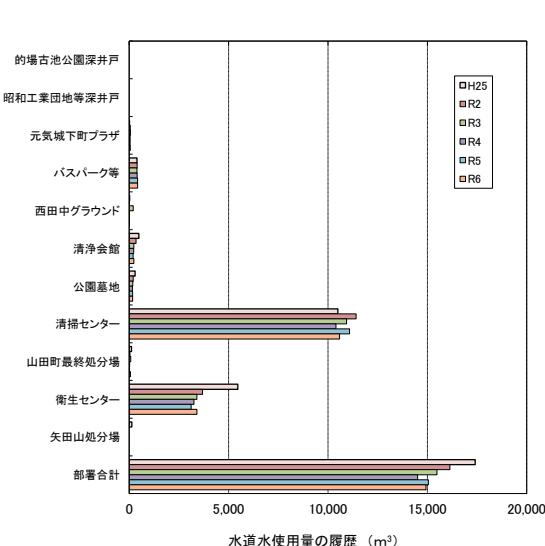
産業振興部



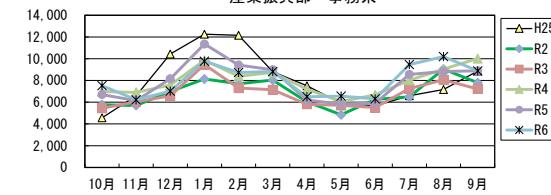
産業振興部



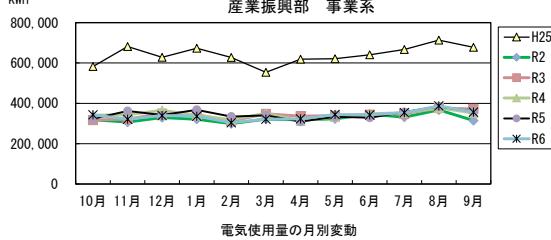
産業振興部



産業振興部 事務系



産業振興部 事業系



都市建設部

◆温室効果ガス排出量

kg-CO₂/年

	管理課	管理課道 路灯	建設課ボ ンプ場等	桜堤公園 等	市営住宅 照明等	道路灯等	公園等	部署合計
H25	0	171,733	6,791	48,429	27,817	8,735	77,238	368,560
R2	1,204	74,131	1,932	3,929	25,535	4,359	12,459	123,549
R3	1,583	70,922	1,939	3,484	27,731	1,813	9,413	116,885
R4	1,286	55,569	1,454	2,774	23,650	1,918	7,850	94,501
R5	1,785	67,915	1,375	2,825	28,416	3,296	10,387	144,415
R6	1,989	68,013	1,443	3,164	28,521	3,194	12,193	118,517

◆電気使用量

kWh/年

	管理課	管理課道 路灯	建設課ボ ンプ場等	桜堤公園 等	市営住宅 照明等	道路灯等	公園等	部署合計
H25	0	334,112	13,213	94,220	53,171	16,995	142,234	653,945
R2	0	218,032	5,681	11,556	75,103	12,822	36,643	359,837
R3	0	195,917	5,355	9,624	76,604	5,007	26,002	318,509
R4	0	185,849	4,864	9,279	79,098	6,414	26,255	311,759
R5	0	188,653	3,819	7,848	78,932	9,156	27,543	315,951
R6	0	188,925	4,007	8,788	79,224	8,871	31,836	321,651

◆燃料使用量

L/年+kg/年+m³/年

	管理課	管理課道 路灯	建設課ボ ンプ場等	桜堤公園 等	市営住宅 照明等	道路灯等	公園等	部署合計
H25	0	0	0	0	210	0	1,780	1,990
R2	497	0	0	0	0	0	0	497
R3	654	0	0	0	0	0	0	654
R4	531	0	0	0	0	0	0	531
R5	737	0	0	0	0	0	174	911
R6	821	0	0	0	0	0	270	1,091

◆自動車の走行量

km/年

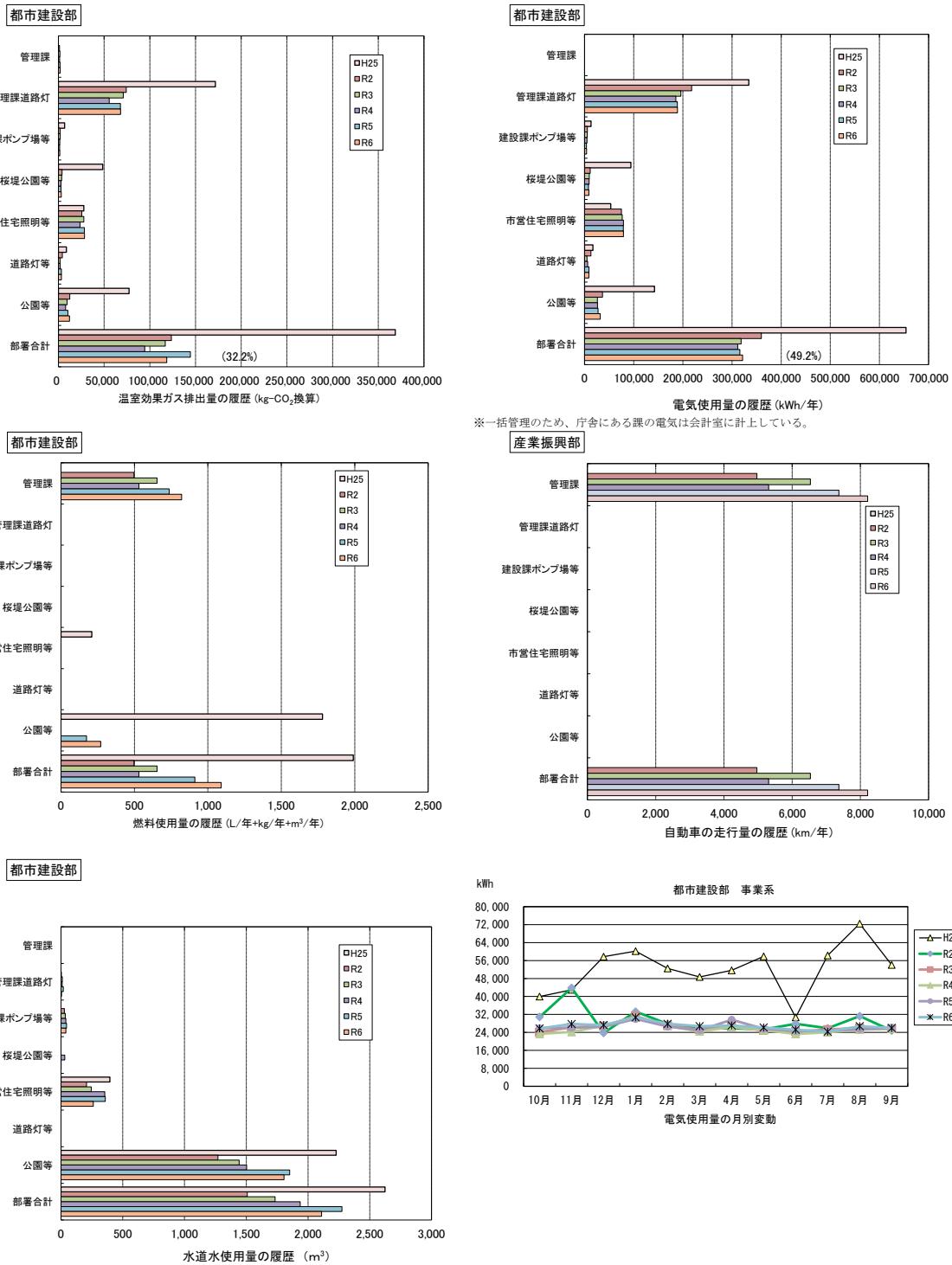
	管理課	管理課道 路灯	建設課ボ ンプ場等	桜堤公園 等	市営住宅 照明等	道路灯等	公園等	部署合計
H25	0	0	0	0	0	0	0	0
R2	4,968	0	0	0	0	0	0	4,968
R3	6,536	0	0	0	0	0	0	6,536
R4	5,310	0	0	0	0	0	0	5,310
R5	7,369	0	0	0	0	0	0	7,369
R6	8,213	0	0	0	0	0	0	8,213

◆水道水の使用量

m³/年

	管理課	管理課道 路灯	建設課ボ ンプ場等	桜堤公園 等	市営住宅 照明等	道路灯等	公園等	部署合計
H25	0	0	0	0	396	0	2,228	2,624
R2	0	3	27	0	207	0	1,271	1,508
R3	0	11	35	0	245	0	1,442	1,733
R4	0	10	39	31	354	0	1,503	1,937
R5	0	19	45	1	359	0	1,851	2,275
R6	0	4	39	1	261	0	1,805	2,110

注) 部署ごとに四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合がある。



教育委員会

◆温室効果ガス排出量

	教育総務課	幼稚園全体	小学校全体	中学校全体	学科指導 教室ASU	生涯学習課	青少年センターアー	通学路 照明灯	学校給食 事務所	kg-CO ₂ /年
H25	528	125,464	717,507	535,922	29,228	0	1,594	26,102	436,333	
R2	387	53,216	515,874	285,517	13,784	0	1,181	9,628	736,928	
R3	232	52,586	654,632	345,436	14,412	0	1,282	10,183	816,150	
R4	281	46,021	626,954	277,479	13,065	0	824	9,005	789,112	
R5	305	51,955	655,661	340,491	11,701	27	963	9,323	835,118	
R6	290	49,446	651,901	347,550	4,978	43	1,389	9,954	816,839	

◆電気使用量

	教育総務課	幼稚園全体	小学校全体	中学校全体	学科指導 教室ASU	生涯学習課	青少年センターアー	通学路 照明灯	学校給食 事務所	kWh/年
H25	0	142,869	1,128,387	858,564	56,555	0	0	50,782	394,983	
R2	0	82,114	1,230,199	696,527	40,322	0	0	28,317	762,260	
R3	0	80,996	1,489,263	861,932	39,612	0	0	28,129	798,401	
R4	0	86,147	1,572,037	833,077	43,459	0	0	30,117	832,272	
R5	0	70,461	1,639,158	888,242	32,306	74	0	25,898	825,004	
R6	0	73,042	1,677,352	936,268	13,828	119	0	27,651	819,979	

◆燃料使用量

	教育総務課	幼稚園全体	小学校全体	中学校全体	学科指導 教室ASU	生涯学習課	青少年センターアー	通学路 照明灯	学校給食 事務所	L/年+kg/年+m ³ /年
H25	224	20,409	55,147	39,627	53	0	659	0	114,260	
R2	163	10,107	39,176	19,544	25	0	436	0	217,579	
R3	98	9,288	46,373	13,462	24	0	473	0	247,702	
R4	119	8,086	63,007	11,442	24	0	304	0	250,060	
R5	130	10,625	26,316	8,350	24	0	355	0	249,083	
R6	123	9,243	19,290	6,240	0	0	513	0	254,370	

◆自動車の走行量

	教育総務課	幼稚園全体	小学校全体	中学校全体	学科指導 教室ASU	生涯学習課	青少年センターアー	通学路 照明灯	学校給食 事務所	km/年
H25	1,016	0	0	0	0	0	9,034	0	4,716	
R2	994	0	0	0	0	0	0	0	8,838	
R3	539	0	0	0	0	0	0	0	5,089	
R4	655	0	0	0	0	0	0	0	7,558	
R5	691	0	0	0	0	0	0	0	5,476	
R6	512	0	0	0	0	0	0	0	6,651	

◆水道水の使用量

	教育総務課	幼稚園全体	小学校全体	中学校全体	学科指導 教室ASU	生涯学習課	青少年センターアー	通学路 照明灯	学校給食 事務所	m ³ /年
H25	0	17,162	51,696	26,980	270	0	0	0	23,175	
R2	0	4,655	24,411	10,161	225	0	0	0	30,033	
R3	0	5,081	29,313	16,542	253	0	0	0	35,533	
R4	0	4,445	21,450	16,761	319	0	0	0	34,449	
R5	0	5,176	28,751	17,782	105	0	0	0	34,427	
R6	0	5,011	28,101	13,413	85	0	0	0	34,298	

注) 部署ごとに四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合がある。

教育委員会(続き)

◆温室効果ガス排出量

kg-CO₂/年

	中央公民館	南部公民館	昭和地区 公民館	治道地区 公民館	平和地区 公民館	片桐地区 公民館	部署合計
H25	112,936	94,131	18,292	17,161	57,737	106,008	2,327,008
R2	129,657	67,399	13,502	14,716	36,215	79,491	1,957,495
R3	137,160	88,547	13,319	16,422	40,448	92,380	2,283,189
R4	129,956	87,128	11,763	14,878	40,396	80,004	2,126,866
R5	145,154	91,595	13,095	18,048	38,673	88,044	2,300,153
R6	164,381	82,379	12,530	19,068	41,917	94,536	2,297,201

◆電気使用量

kWh/年

	中央公民館	南部公民館	昭和地区 公民館	治道地区 公民館	平和地区 公民館	片桐地区 公民館	部署合計
H25	188,663	139,500	48,396	45,432	85,002	164,894	3,304,027
R2	197,792	97,496	37,455	40,618	66,087	117,486	3,396,673
R3	225,821	130,723	35,814	44,084	67,736	134,196	3,936,707
R4	208,189	132,856	38,636	48,519	68,790	123,181	4,017,280
R5	233,548	127,253	35,816	48,986	66,712	122,413	4,115,871
R6	264,768	110,510	34,218	51,918	68,172	128,562	4,206,387

◆燃料使用量

L/年+kg/年+m³/年

	中央公民館	南部公民館	昭和地区 公民館	治道地区 公民館	平和地区 公民館	片桐地区 公民館	部署合計
H25	20,317	19,922	217	216	12,313	21,098	304,462
R2	27,976	15,389	164	222	6,074	17,633	354,488
R3	25,633	19,071	133	180	7,360	20,263	390,060
R4	31,328	21,933	75	149	9,166	19,957	415,650
R5	28,233	21,185	75	164	6,772	20,347	371,659
R6	33,622	20,758	80	149	8,454	23,520	376,362

◆自動車の走行量

km/年

	中央公民館	南部公民館	昭和地区 公民館	治道地区 公民館	平和地区 公民館	片桐地区 公民館	部署合計
H25	0	1,809	1,260	1,944	1,197	823	21,799
R2	0	1,078	1,096	2,717	2,506	2,176	19,405
R3	2,418	1,426	772	5,418	1,716	1,572	18,950
R4	2,103	1,317	209	2,039	1,642	6,580	22,103
R5	2,992	1,414	601	2,803	1,761	1,443	17,181
R6	2,876	1,548	526	2,423	1,569	1,554	17,659

◆水道水の使用量

m³/年

	中央公民館	南部公民館	昭和地区 公民館	治道地区 公民館	平和地区 公民館	片桐地区 公民館	部署合計
H25	1,803	1,714	257	385	483	1,303	125,228
R2	1,127	941	264	405	470	1,015	73,707
R3	1,914	1,133	195	435	462	1,022	91,883
R4	804	943	141	480	477	934	81,203
R5	2,695	1,018	117	465	444	1,139	92,119
R6	850	1,064	126	474	456	1,317	85,195

注) 部署ごとに四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合がある。

教育委員会(幼稚園、小学校、中学校の詳細)

◆温室効果ガス排出量

kg-CO₂/年

	郡山南幼稚園	郡山西幼稚園	郡山北幼稚園	筒井幼稚園	昭和幼稚園	片桐幼稚園	片桐西幼稚園	矢田南幼稚園
R6	10,221	8,134	3,465	6,408	2,819	8,203	2,333	7,862

◆電気使用量

kWh/年

	郡山南幼稚園	郡山西幼稚園	郡山北幼稚園	筒井幼稚園	昭和幼稚園	片桐幼稚園	片桐西幼稚園	矢田南幼稚園
R6	20,672	14,082	0	12,059	0	13,089	0	13,140

◆燃料使用量

L/年+kg/年+m³/年

	郡山南幼稚園	郡山西幼稚園	郡山北幼稚園	筒井幼稚園	昭和幼稚園	片桐幼稚園	片桐西幼稚園	矢田南幼稚園
R6	1,116	1,217	1,404	817	1,123	1,378	931	1,257

◆水道水の使用量

m³/年

	郡山南幼稚園	郡山西幼稚園	郡山北幼稚園	筒井幼稚園	昭和幼稚園	片桐幼稚園	片桐西幼稚園	矢田南幼稚園
R6	721	586	723	544	604	716	336	781

※幼稚園で電気使用量が0の園は隣接する小学校に合算されている

◆温室効果ガス排出量

kg-CO₂/年

	郡山南小学校	郡山西小学校	郡山北小学校	矢田小学校	筒井小学校	平和小学校	治道小学校	昭和小学校
R6	60,821	70,659	68,328	48,901	52,772	61,095	45,329	58,002

◆電気使用量

kWh/年

	郡山南小学校	郡山西小学校	郡山北小学校	矢田小学校	筒井小学校	平和小学校	治道小学校	昭和小学校
R6	168,429	194,023	182,965	126,614	125,420	152,617	109,293	143,090

◆燃料使用量

L/年+kg/年+m³/年

	郡山南小学校	郡山西小学校	郡山北小学校	矢田小学校	筒井小学校	平和小学校	治道小学校	昭和小学校
R6	75	326	1,012	1,332	3,059	2,467	2,396	2,602

◆水道水の使用量

m³/年

	郡山南小学校	郡山西小学校	郡山北小学校	矢田小学校	筒井小学校	平和小学校	治道小学校	昭和小学校
R6	3,093	2,619	2,731	2,189	1,572	2,228	1,490	2,046

◆温室効果ガス排出量

kg-CO₂/年

	片桐小学校	片桐西小学校	矢田南小学校	郡山中学校	郡山南中学校	郡山西中学校	郡山東中学校	片桐中学校
R6	56,237	62,759	66,996	83,953	79,920	72,287	43,715	67,676

◆電気使用量

kWh/年

	片桐小学校	片桐西小学校	矢田南小学校	郡山中学校	郡山南中学校	郡山西中学校	郡山東中学校	片桐中学校
R6	141,753	174,040	159,108	226,002	208,675	197,915	105,107	184,741

◆燃料使用量

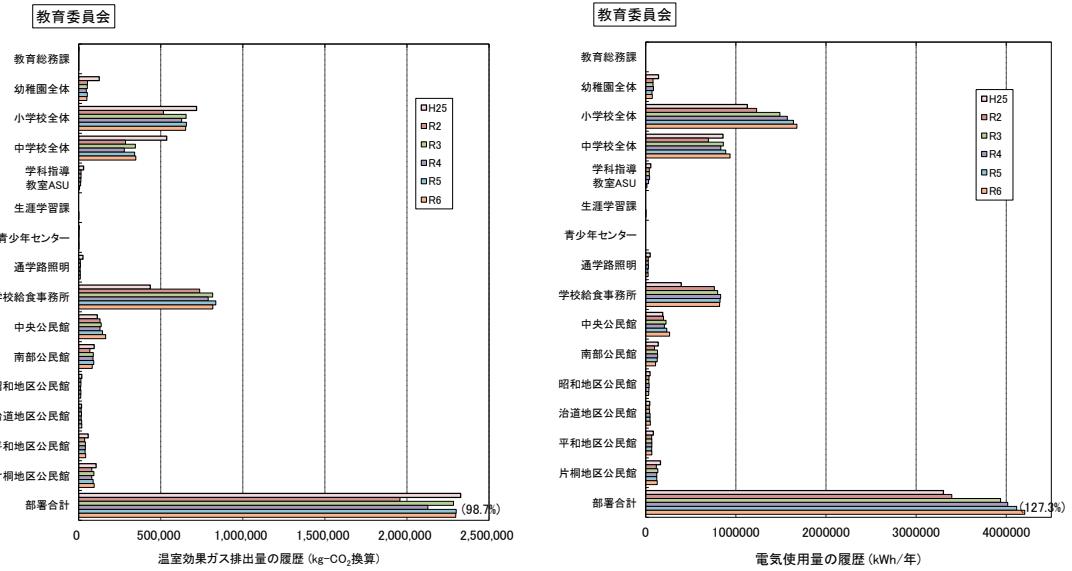
L/年+kg/年+m³/年

	片桐小学校	片桐西小学校	矢田南小学校	郡山中学校	郡山南中学校	郡山西中学校	郡山東中学校	片桐中学校
R6	2,087	35	3,899	1,057	1,940	415	2,353	476

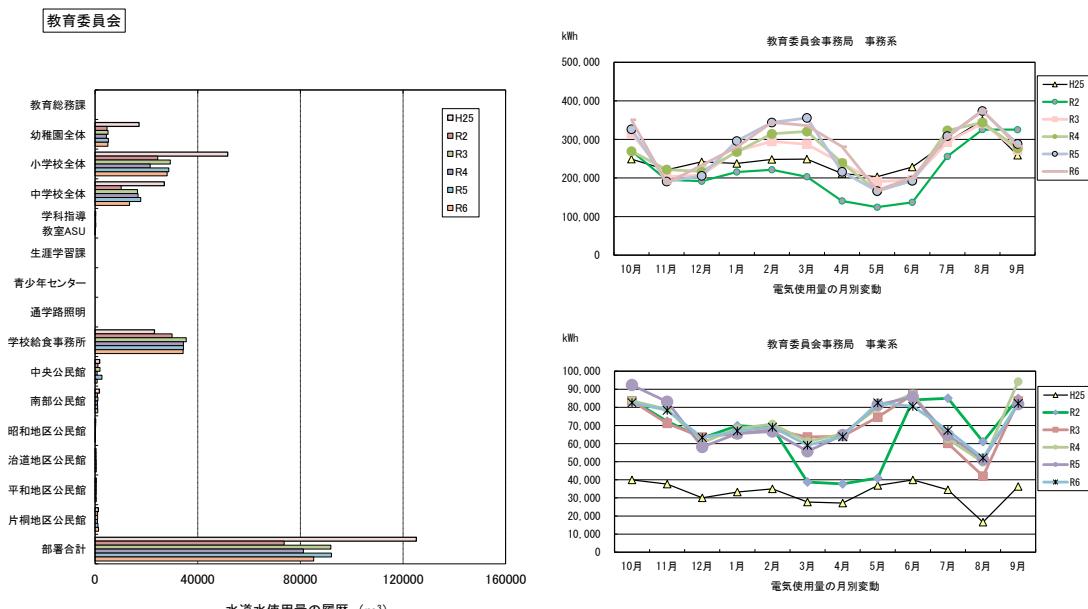
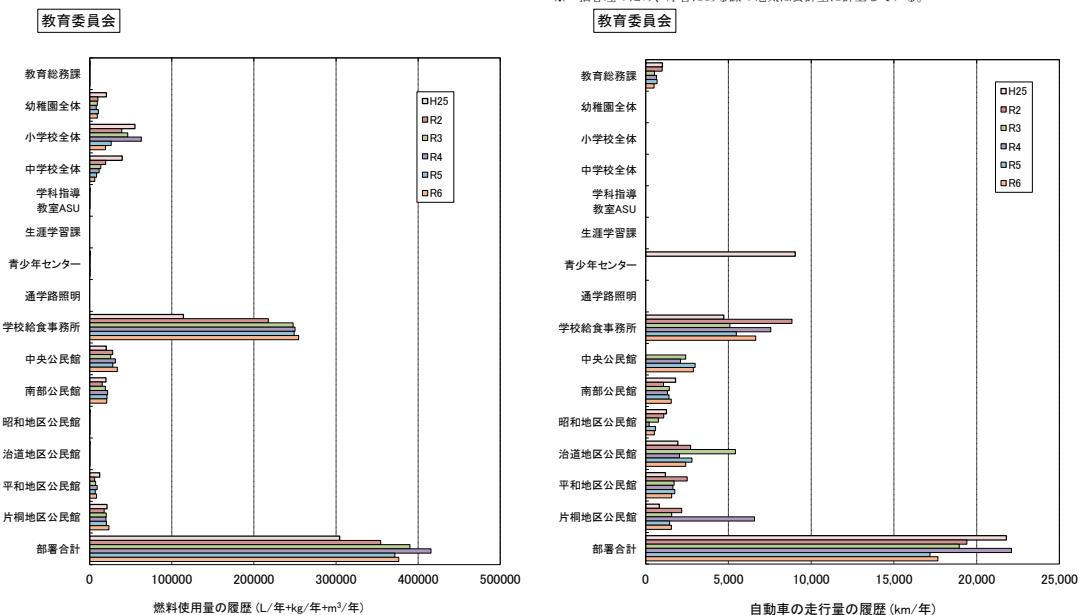
◆水道水の使用量

m³/年

	片桐小学校	片桐西小学校	矢田南小学校	郡山中学校	郡山南中学校	郡山西中学校	郡山東中学校	片桐中学校
R6	2,318	2,912	4,903	3,353	4,586	1,687	1,943	1,759



※一括管理のため、庁舎にある課の電気は会計室に計上している。



上下水道部

◆温室効果ガス排出量

kg-CO₂/年

	業務課	浄水場	下水道推進課	下水道ポンプ場	部署合計
H25	6,283	3,111,746	4,622	32,895	3,155,546
R2	6,548	2,093,849	3,962	36,433	2,140,792
R3	7,431	2,107,418	3,412	43,840	2,162,101
R4	6,679	1,653,655	3,312	36,445	1,700,091
R5	5,898	1,987,087	2,762	45,770	2,041,517
R6	6,224	1,982,090	2,649	45,063	2,036,026

◆電気使用量

kWh/年

	業務課	浄水場	下水道推進課	下水道ポンプ場	部署合計
H25	0	6,040,609	0	53,334	6,093,943
R2	0	6,142,668	0	91,213	6,233,881
R3	0	5,807,869	0	91,160	5,899,029
R4	0	5,510,634	0	103,764	5,614,398
R5	0	5,505,245	0	97,029	5,602,274
R6	0	5,492,748	0	95,062	5,587,810

◆燃料使用量

L/年+kg/年+m³/年

	業務課	浄水場	下水道推進課	下水道ポンプ場	部署合計
H25	2,617	2,995	1,928	2,022	9,562
R2	2,739	2,373	1,651	2,000	8,763
R3	3,100	2,213	1,421	4,000	10,734
R4	2,784	2,656	1,380	2,000	8,820
R5	2,456	2,305	1,152	4,000	9,913
R6	2,582	2,169	1,104	4,000	9,855

◆自動車の走行量

km/年

	業務課	浄水場	下水道推進課	下水道ポンプ場	部署合計
H25	26,845	24,560	20,306	0	71,711
R2	25,465	10,047	18,054	0	53,566
R3	34,148	10,664	15,755	0	60,567
R4	31,853	12,355	15,157	0	59,365
R5	27,889	11,474	12,388	0	51,751
R6	32,205	8,334	11,960	0	52,499

◆水道水の使用量

m³/年

	業務課	浄水場	下水道推進課	下水道ポンプ場	部署合計
H25	0	1,510	0	104	1,614
R2	0	1,015	0	18	1,033
R3	0	1,067	0	12	1,079
R4	0	960	0	19	979
R5	0	886	0	56	942
R6	0	879	0	49	928

注) 部署ごとに四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合がある。

